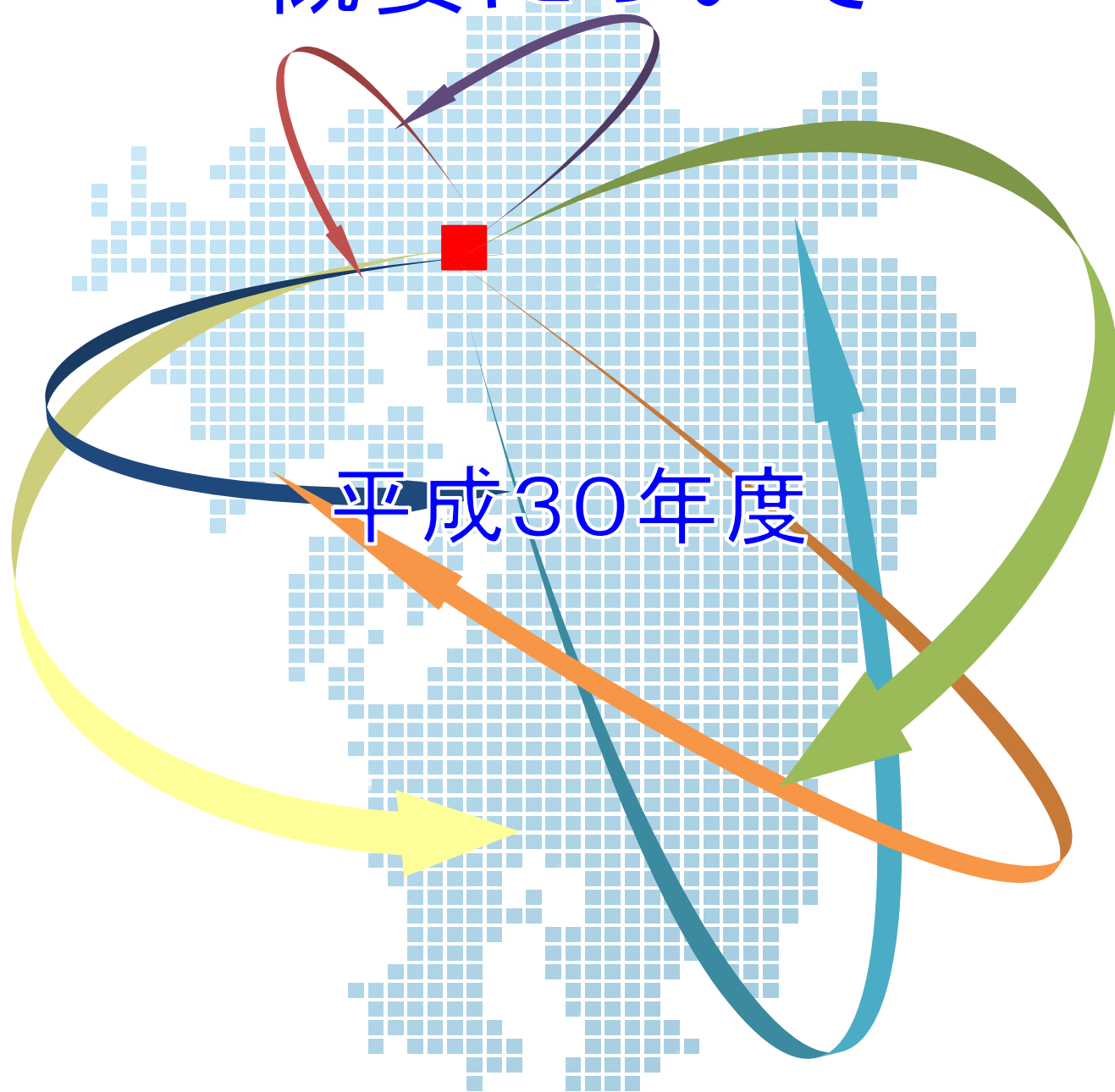




# 新技術活用システムの 概要について



九州地方整備局  
九州技術事務所

# ◆ 目 次 ◆

|                                                                  |    |
|------------------------------------------------------------------|----|
| ○新技術とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                                   | 1  |
| ○新技術の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                                  | 1  |
| ○新技術活用における期待される効果・・・・・・・・                                        | 2  |
| ○新技術活用の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                                | 2  |
| ○公共工事等における新技術活用システム（概要）                                          | 3  |
| ○九州技術事務所が行っている新技術の業務                                             | 4  |
| ○九州地方整備局管内の新技術活用状況の推移                                            | 4  |
| ○九州地方整備局管内の施工者による新技術に関する提案の増加                                    | 5  |
| ○九州地方整備局管内の活用件数の多い工種                                             | 5  |
| ○九州地方整備局における新技術活用による経済性効果                                        | 6  |
| ○活用の型について・・・・・・・・・・・・・・・・                                        | 6  |
| ○活用効果調査と試行調査・・・・・・・・                                             | 7  |
| ○有用な新技術・・・・・・・・                                                  | 7  |
| ○NETIS登録番号について・・・・・・・・                                           | 8  |
| ○設計業務における新技術の検討・・・・・・・・                                          | 8  |
| ○新技術活用等計画書及び新技術活用効果調査表（報告書）の提出                                   | 9  |
| ○活用効果調査表の書き方について・・・・・・・・                                         | 9  |
| ○NETISの掲載期間・・・・・・・・                                              | 11 |
| ○NETIS新技術情報提供システム TOPページ                                         | 12 |
| ○有用な新技術の検索と閲覧方法・・・・・・・・                                          | 12 |
| ○他機関との連携について・・・・・・・・                                             | 13 |
| ○活用効果評価結果・・・・・・・・                                                | 14 |
| ○NETIS掲載を終了した技術について・・・・・・・・                                      | 14 |
| ○九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（施工者希望型）                                    | 15 |
| ○九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（発注者指定型）                                    | 19 |
| ○九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術のうち、九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（全ての活用型を含む） | 24 |
| ○資料詳細・・・・・・・・                                                    | 31 |
| ○九州技術事務所 新技術ポータルサイトの紹介                                           | 31 |
| ○イントラ KYUTIS 新技術ポータルサイトの紹介                                       | 32 |
| ○九州技術事務所 facebookの紹介                                             | 32 |
| ○新技術・新工法説明会の開催状況                                                 | 33 |
| ○九州建設フォーラムの開催状況                                                  | 33 |

## ◆新技術とは◆

### 新技術とは

- 技術の成立性が確認されている技術
- 実用化している技術
- 従来技術に比べ活用の効果が同程度以上の技術

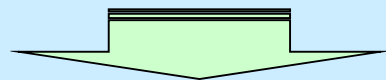
新技術とは、「技術の成立性が技術開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されており、実用化している技術であって、当該技術の適用範囲において従来技術に比べ活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術をいう。」

## ◆新技術の目的◆

### 新技術の目的

#### ◆新技術の積極的な活用促進

➡ 民間事業者等による  
技術開発の促進、優れた技術創出



- 公共事業等の品質確保
- 良質な社会資本の整備や維持管理
- 防災対策に寄与

この目的達成の仕組みが「新技術活用システム」

## ◆新技術活用における期待される効果◆

### 新技術活用における期待される効果

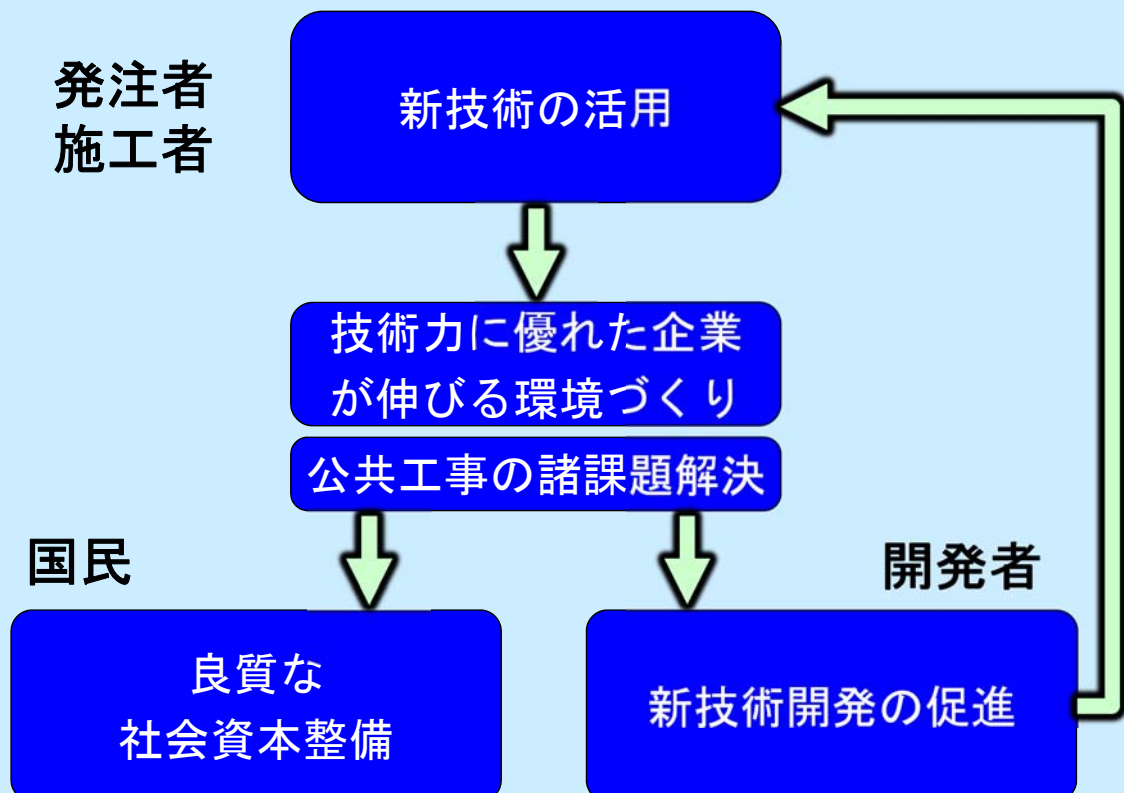
#### 【発注者】

- コスト縮減を踏まえた  
工事の発注
- 事業のスピードアップ
- 適切な品質確保
- 維持管理の効率化

#### 【施工者】

- 工事効率化等による工期短縮
- 適切な管理による品質確保
- 省エネルギー、省資源化

## ◆新技術活用の効果◆



公共工事等に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の推進に寄与します。  
また、優れた技術を持続的に創出していくためには、新技術を積極的に活用していくことが重要となります。

# ◆公共工事等における新技術活用システム（概要）◆

公共工事等における新技術活用システムは、民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発促進をしていくためのシステムです。

## 公共工事等における新技術活用システム





## ◆ 九州技術事務所が行っている新技術の業務 ◆

### 九州技術事務所が行っている新技術の業務

#### 新技術活用の支援

##### 新技術・新工法説明会

・毎年、九州各県で新技術活用システムに関する説明会を開催

##### 新技術説明会

・各事務所に訪問し、新技術活用に関する実務的な説明を実施

#### 工事発注支援

##### 工法比較検討支援

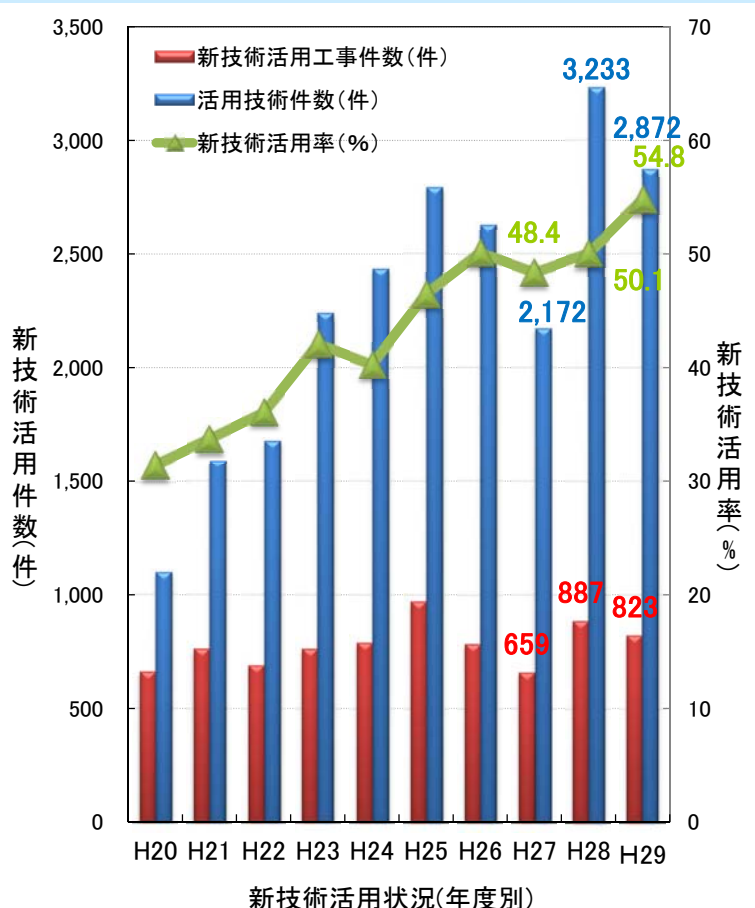
##### 歩掛作成支援

#### 技術開発相談窓口

##### NETIS登録・申請等

連絡先：九州技術事務所 施工調査・技術活用課  
TEL：0942-32-8245(代表)

## ◆ 九州地方整備局管内の新技術活用状況の推移 ◆



### 新技術の活用が増加傾向

・活用率 約55%に増加

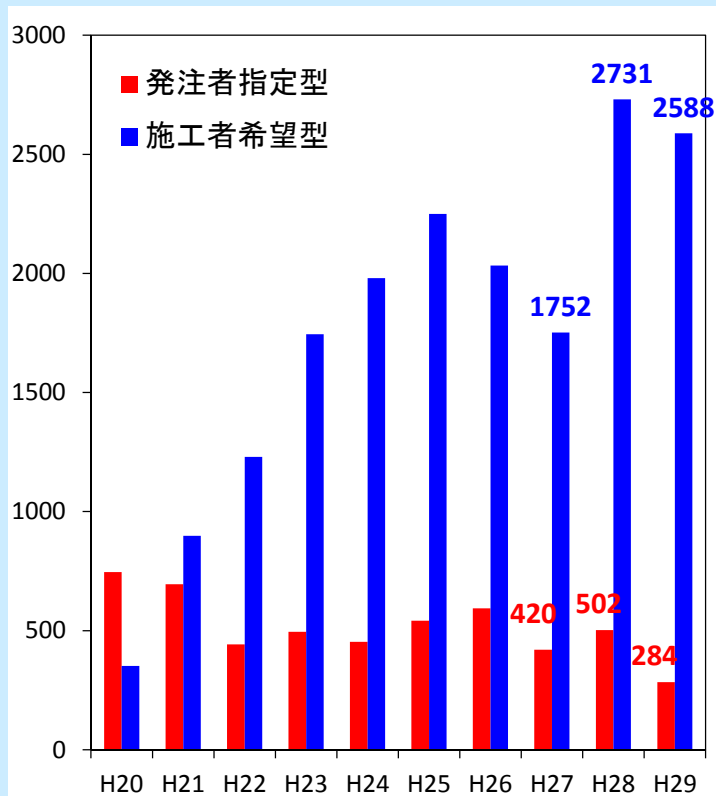
(H29年度の活用状況)

・活用技術数 2,872件

・1工事当り 3~4技術

詳細資料はp.31

## ◆九州地方整備局管内の施工者による新技術に関する提案の増加◆

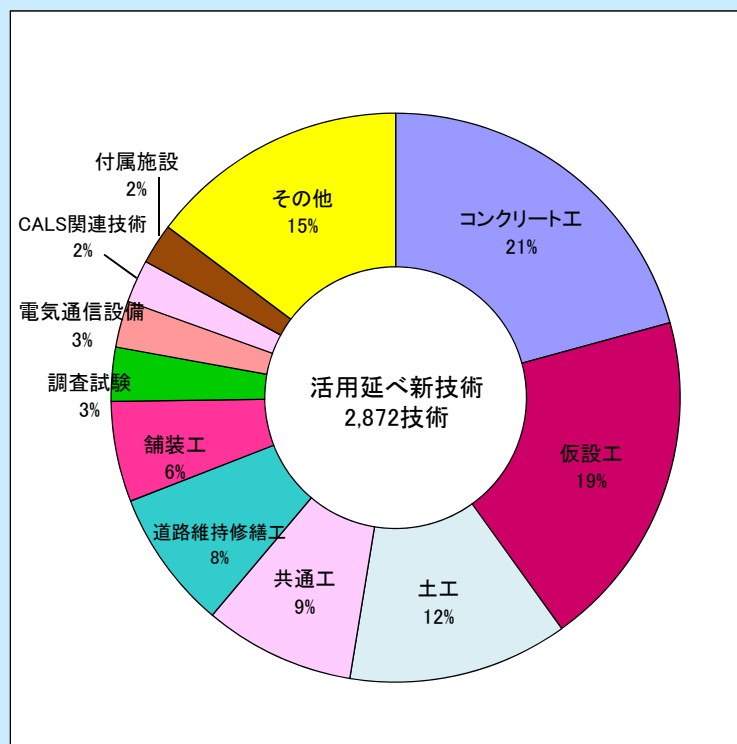


**施工者による提案が増加**

**活用促進のための取り組み**

- ①総合評価方式における技術提案への加点
- ②新技術を活用した場合に、工事成績評定で加点

## ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い工種◆



**H29年度活用件数 上位5工種**

- ・コンクリート工
- ・仮設工
- ・土工
- ・共通工
- ・道路維持修繕工

活用延べ新技術数の工種別内訳

詳細資料はp.31

## ◆九州地方整備局における新技術活用による経済性効果◆

### 経済性効果 (コスト削減額平成29年度)

#### H29年度コスト削減額

(九州地方整備局)

約26億円

- ・発注者指定型・・・約15億円
- ・施工者希望型・・・約11億円

発注者指定型は  
コスト削減効果が高い



※新技術活用年度で整理した値  
※営繕・港湾空港工事を含まない

## ◆活用の型について◆

### 発注者指定型

発注者がこの新技術を使うように！ という場合  
現場ニーズ等により必要となる新技術を対象に、**発注者の指定**により活用し、活用効果調査を行うタイプ

### 施工者希望型

施工者(受注者)から契約前・契約後にこの技術を使いたいと提案があった場合  
**施工者(受注者)からの提案**に基づき、新技術を活用し、活用効果調査を行うタイプ

### 試行申請型

開発者の申請により試行現場を照会し、活用を行う場合  
技術の成立性等を事前に審査し、**申請者(技術開発者)からの申請**により試行現場を照会し、試行調査及び活用効果調査を行うタイプ

### フィールド提供型

発注者がニーズにあった新技術を募集し、その技術の中から効果が高いと想定される技術を使ってみようという場合  
**民間から新技術を募集**し、選考した技術を活用し、試行調査および活用効果調査を行うタイプ

### テーマ設定型(技術公募)

直轄工事等における現場ニーズ・行政ニーズ等により、求める技術募集テーマ等に基づき、民間事業者等から技術提案の募集を行い活用する場合  
**民間から新技術を募集**し、応募されたNETIS登録技術を対象に活用を行い、試行調査および活用効果調査を行うタイプ

### 活用促進型〔試行〕

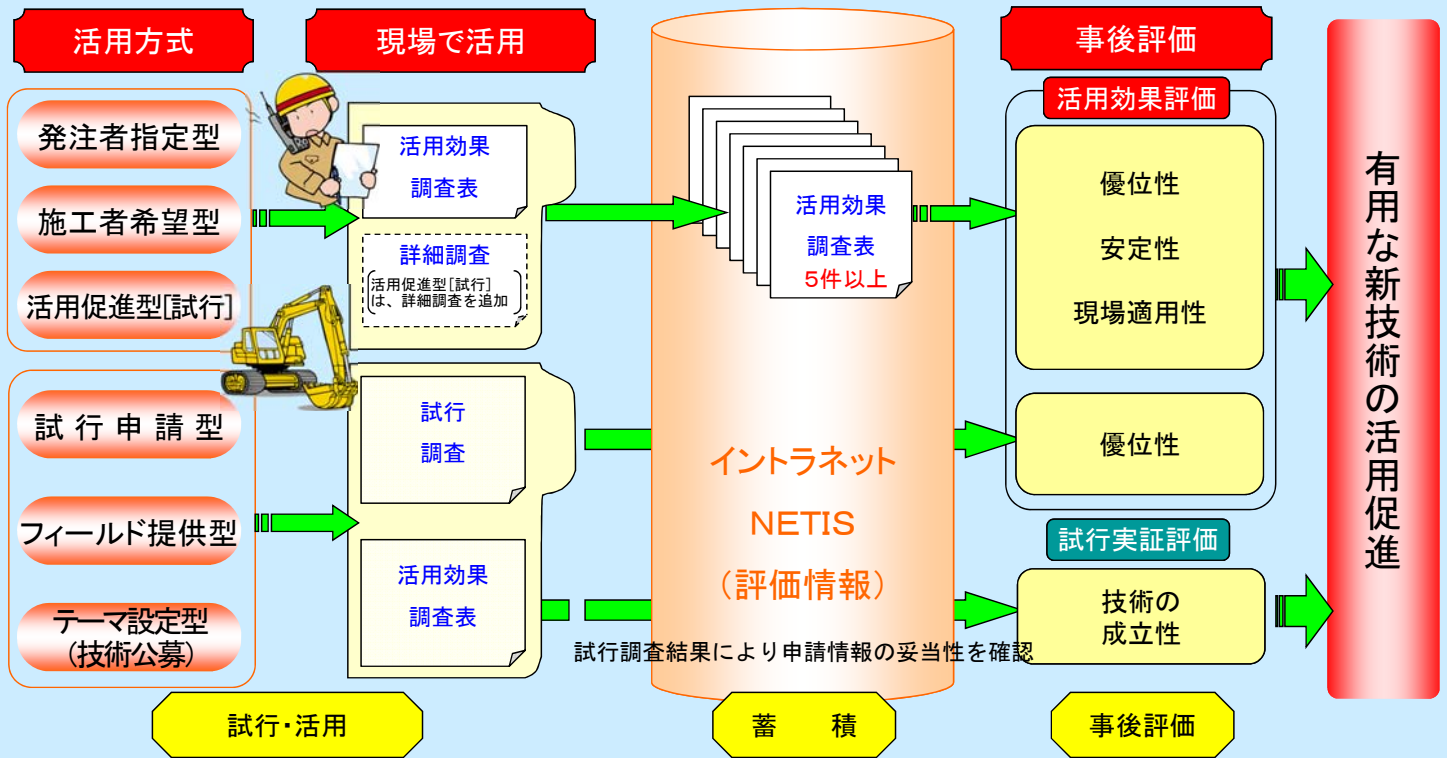
九州地方整備局独自の取り組みとして、九州のフィールドに適応した未評価の新技術を募集し、その技術の中から効果が高いと想定される技術を発注者指定型で活用する場合  
**民間から新技術を募集**し、選考した技術を活用し、活用効果調査及び詳細調査を行うタイプ



## ◆活用効果調査と試行調査◆

試行・活用時には試行調査・活用効果調査を行います。

- ・発注者指定型、施工者希望型、活用促進型[試行]：活用効果調査を5件以上蓄積 → 事後評価
- ・試行申請型、フィールド提供型、テーマ設定型（技術公募）：試行調査、活用効果調査 → 1件だけで事後評価



## ◆ 有用な新技術 ◆

### 指定の区分

### 技術の定義

#### 推奨技術

・公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術

#### 準推奨技術

・上記の推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術

#### 評価促進技術

・他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術

#### 活用促進技術

・総合的に活用の効果が優れている技術  
 ・特定の性能又は機能が特に優れている技術  
 ・特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術  
 ・その他評価会議が選考し指定する技術

（平成26年4月1日より、従来の「活用促進技術」、「設計比較対象技術」、「少実績優良技術」を「活用促進技術」に統合）

#### 一般化・標準化技術

・公共工事等で使用する技術指針等に示される技術  
 ・公共工事等の施工に当たり、一般的に選択し、活用されている技術  
 ・その他システム検討会議が一般化・標準化に位置付けるべき新技術として判断する技術

※従来の実施要領により有用な新技術に位置付けられていた新技術について、NETIS 申請者は、「少実績優良技術」「設計比較対象技術」「〇〇年度活用促進技術（新技術活用評価会議（〇〇整備局））」「〇〇年度 推奨技術」又は「〇〇年度 準推奨技術」という名称を使用できる。

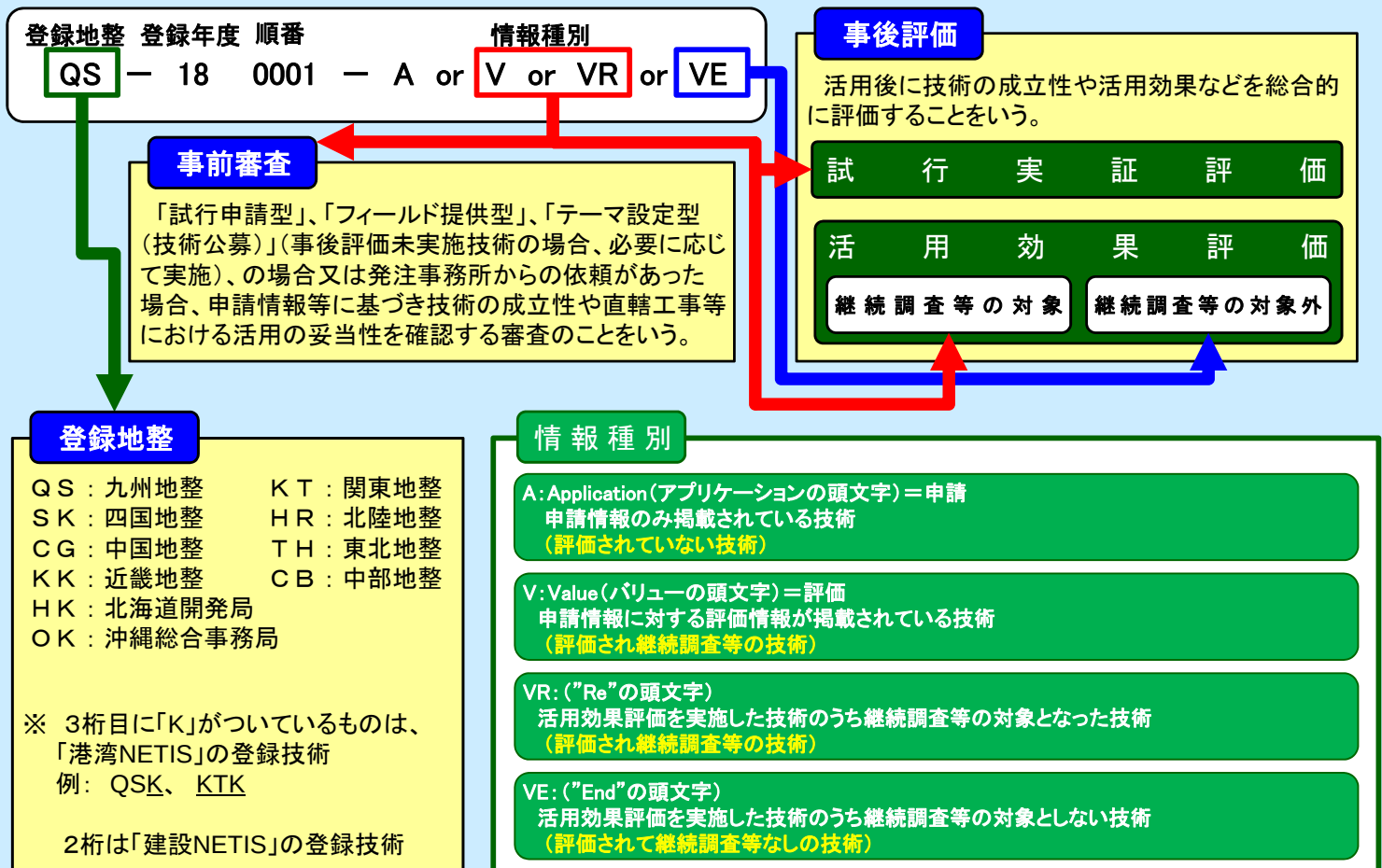
#### 設計比較対象技術

・優位性が高く安定性が確認されている技術（従来の実施要領により決定されている技術は当該名称を使用できる）

#### 少実績優良技術

・優位性は高いが、実績の少ない技術（従来の実施要領により決定されている技術は当該名称を使用できる）

## ◆NETIS登録番号について◆



## ◆設計業務における新技術の検討◆

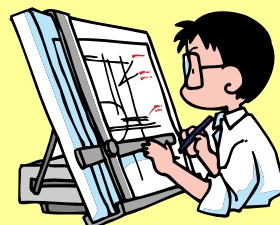
### ●土木設計業務等共通仕様書(案)【平成30年3月20日】

#### 第2章 設計業務等一般

##### 第1209条 設計業務の条件

12. 受注者は、概略設計又は予備設計における比較案の提案、評価及び検討をする場合には、従来技術に加えて、**新技術情報提供システム（NETIS）等**を利用し、**有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行うものとする**。なお、従来技術の検討においては、NETIS掲載期間終了技術についても、技術の優位性や活用状況を考慮して検討の対象に含めることとする。

また、受注者は、詳細設計における工法等の選定においては、従来技術（NETIS掲載期間終了技術を含む）に加えて、**新技術情報提供システム（NETIS）等**を利用し、**有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行い、調査職員と協議のうえ、採用する工法等を決定した後に設計を行うものとする**。









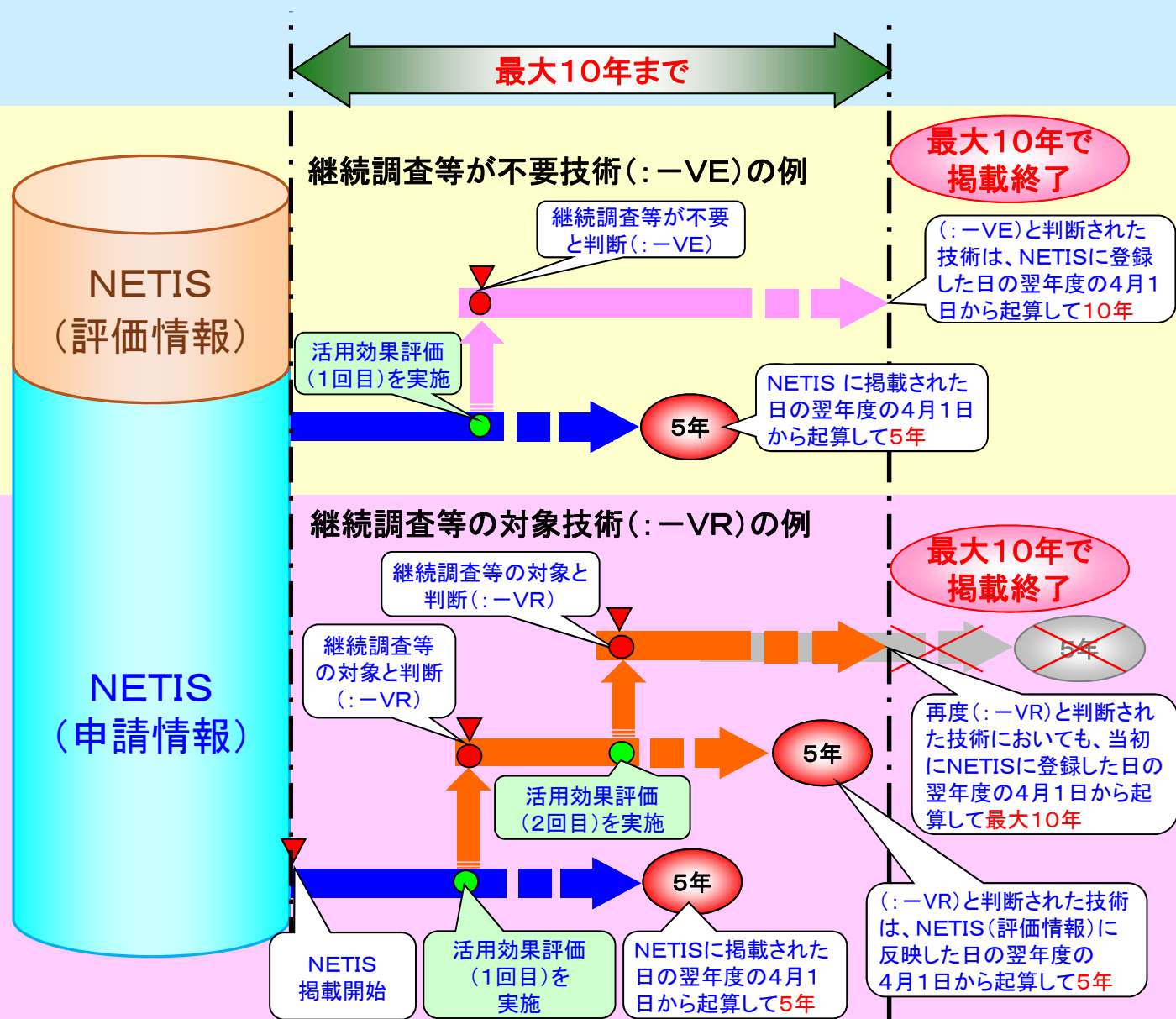
## ◆ NETISの掲載期間 ◆

◆「『公共工事等における新技術活用システム』実施要領」に基づく  
申請書類の審査を実施し、確認出来た新技術についてNETISへ登録

◇NETISへの掲載期間は、NETISに掲載された日の翌年度の4月1日から起算して5年を経過した日までとする。

◇活用効果評価で（：－VE）と判断された技術は、当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日までとする。

◇活用効果評価で（：－VR）と判断された技術は、NETIS（評価情報）に反映した日の翌年度の4月1日から起算して5年を経過した日までとする。ただし、2回目以降の活用効果評価で（：－VR）と判断された技術においても当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して最大10年を経過した日までとする。



## 開発者より申請された新技術の 情報をインターネットで一般公開

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>

**NETIS維持管理支援サイト**  
点検・維持管理に資する技術を広く情報提供することで、点検・維持管理の現場における活用を支援します。

**NETIS震災復旧・復興支援サイト**  
震災復旧・復興に資する技術を広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援します。

**NETISとは**  
国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム(New Technology Information System NETIS)を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。  
パンフレット: 公共工事における新技術活用システム(開発者、施工者、コンサルタント向け)  
パンフレット: 公共工事における新技術活用システム(関係者、施工者、コンサルタント向け)

◎「公共工事における新技術活用システム」について、この度改定を行い、平成26年4月1日より運用しますので、関係文書を掲載します。  
○公共工事における新技術活用の促進について 平成26年3月28日  
○「公共工事における新技術活用システム」実施要領について 平成26年3月28日  
実施要領別紙

|             |                                                                                                                                |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新技術情報の登録件数他 | 評価情報: 889件 申請情報: 2899件<br>推奨技術(5件) 準推奨技術(11件) 評価促進技術(2件) 活用促進技術(163件)<br>旧実施要領での技術の位置付け<br>活用促進技術(旧) 設計比較対象技術(31件) 少実績優良技術(4件) |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**新技術の検索**  
キーワード入力  
検索  
AND条件(全文検索)  
OR条件(同義語検索)  
AND条件、OR条件と  
工種で検索 条件で検索

有用な新技術の選択  
☐ 推奨技術 ☐ 準推奨技術 ☐ 評価促進技術 ☐ 活用促進技術  
☐ 旧実施要領での技術の位置付け  
☐ 活用促進技術(旧) ☐ 設計比較対象技術 ☐ 少実績優良技術

☐ 評価情報が掲載されていない技術(-A)  
☐ 評価情報が掲載されている技術(-V)  
☐ 評価情報が掲載されており、かつ継続調査の対象とならない技術(-VE)  
☐ 評価情報が掲載されており、かつ継続調査の対象となった技術(-VR)

## ◆有用な新技術の検索と閲覧方法◆

**キーワードで検索できます。**

**工種や条件で検索できます。**

**チェックして 検索すると、有用な技術が表示されます。**

各種新技術の登録件数を表示しています。  
各件数は定期的に増減します。

工種や条件で検索できます。

チェックして 検索すると、有用な技術が表示されます。



## ◆有用な新技術の検索と閲覧方法◆

|               |             |                   |              |
|---------------|-------------|-------------------|--------------|
| ものづくり<br>日本大賞 | 国士技術<br>開発賞 | 建設技術<br>審査証明<br>※ | 他機関の<br>評価結果 |
|               |             |                   | 有            |

ページ印刷用表示 一括印刷用表示

|                                  |        |        |                 |           |                                              |
|----------------------------------|--------|--------|-----------------|-----------|----------------------------------------------|
| 技術<br>名称                         | 〇〇〇〇工法 |        | 事後評価未実施技術       | 登録No.     | QS-●●●●●●                                    |
| 事前審査                             | 事後評価   |        | 技術の位置付け(有用な新技術) |           |                                              |
|                                  | 試行実証評価 | 活用効果評価 | 推奨<br>技術        | 準推奨<br>技術 | 評価促進<br>技術<br>★                              |
|                                  |        |        |                 |           | 平成27年度～<br>旧実施要領における技術の位置付け<br>活用促進<br>技術(旧) |
|                                  |        |        |                 |           | 設計比較<br>対象技術<br>少実績<br>優良技術                  |
| 活用効果調査入力様式                       |        |        | 適用期間等           |           |                                              |
| -A<br>活用効果調査入力システムを<br>使用してください。 |        |        | 評価促進技術 H27.5.1～ |           |                                              |

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております

概要 従来技術との比較 特許・審査証明 単価・施工方法 問合せ先・その他 詳細説明資料

採用の効果

|                      |                                                                        |       |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------|-------|
| 比較する従来技術             | △△△△工法                                                                 |       |
| 項目                   | 活用の効果                                                                  | 比較の根拠 |
| 経済性                  | <input type="checkbox"/> 向上(%) <input type="checkbox"/> 同程度            |       |
| 工程                   | <input type="checkbox"/> 短縮(%) <input checked="" type="checkbox"/> 同程度 |       |
| 安全性                  | <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 同程度    |       |
| 施工性                  | <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 同程度    | 低下    |
| 周辺環境への影響             | <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 同程度    | 低下    |
| その他、技術の<br>アピールポイント等 | 深目地部に堆積した土砂からの植生、不規則なブロック面形状、低明度のブロックにより、周辺<br>環境との調和が図れる。             |       |
| コストタイプ<br>コストタイプの種類  | 発散型:C(-)型                                                              |       |

事前審査、事後評価について「有」をクリックすると結果を閲覧できます。

有  
click

有用な技術に指定されている場合は★印が表示されています。

従来技術の確認ができます。

閲覧したい項目をクリックします。【従来技術との比較】には、新技術開発者が一般的な条件での従来技術を設定し、新技術との比較を行った場合の効果および根拠などが掲載されています。

## ◆他機関との連携について◆

### 【各技術のトップページ】

|               |             |                   |              |
|---------------|-------------|-------------------|--------------|
| ものづくり<br>日本大賞 | 国士技術<br>開発賞 | 建設技術<br>審査証明<br>※ | 他機関の<br>評価結果 |
|               |             |                   | 有            |

技術名称 〇〇〇〇〇〇工法 事後評価済み技術 (2010.04.21) 登録No. AA-000000-V

|            |        |        |                 |                                                   |
|------------|--------|--------|-----------------|---------------------------------------------------|
| 事前審査       | 事後評価   |        | 技術の位置付け(有用な新技術) |                                                   |
|            | 試行実証評価 | 活用効果評価 | 推奨<br>技術        | 準推奨<br>技術                                         |
|            |        |        |                 | ★<br>平成27年度～<br>旧実施要領における技術の位置付け<br>活用促進<br>技術(旧) |
|            |        |        |                 | 設計比較<br>対象技術<br>少実績<br>優良技術                       |
| 活用効果調査入力様式 |        |        | 適用期間等           |                                                   |
|            |        |        | (2010.6.10～)    |                                                   |

【他機関の評価結果】の閲覧機能を追加

「有」をクリックすると、  
下記のページに移動

### 【評価情報のページ】

NETIS 新技術情報提供システム  
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 | NETISのRSS 配信 | サイトマップ

活用効果評価一覧

登録番号: AA-000000-V  
新技術名称: 〇〇〇〇〇〇工法

| 評価回数 | 活用効果評価ファイル | 更新日        |
|------|------------|------------|
| 1 回目 | 内容確認       | 2010/04/21 |

他機関のサイト(評価情報ページ等)の  
リンクを掲載

| ＜参考情報＞ 他機関の評価結果 |                   |            |
|-----------------|-------------------|------------|
| 評価機関名           | 活用結果など            | 更新日        |
| 〇〇県             | http://www.〇〇〇.jp | 2015/05/12 |
| 〇〇県             | http://www.〇〇〇.jp | 2015/05/12 |

## ◆活用効果評価結果◆

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 |

NETISのRSS  
配信

RSS

サイトマップ

### 活用効果評価一覧

登録番号: AA-\*\*\*\*\*-VE  
新技術名称: ○○○○○○工法

| 評価回数 | 活用効果評価ファイル                       | 更新日        |
|------|----------------------------------|------------|
| 1回目  | <a href="#">内容確認</a>             | 2011/03/09 |
| 2回目  | <a href="#">内容確認</a>             | 2013/03/04 |
| 3回目  | <a href="#">内容確認</a>             | 2014/06/20 |
| 4回目  | <a href="#">内容確認</a> <b>クリック</b> | 2016/01/22 |

活用効果評価一覧が表示され、「内容確認」をクリックすると活用効果評価結果が閲覧できます。

### 活用効果評価結果 3回目

### 活用効果評価結果

様式V-3  
公開版

### 活用効果評価における「所見」「留意事項」

### 活用効果調査結果

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開発目標           | 安全・安心・環境・公共工事の品質確保・向上                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 新技術登録番号        | AA-*****-VE                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 分類             | コンクリート工 - コンクリート工 - その他                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 新技術名           | ○○○○○○工法                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 比較する従来技術(従来工法) | 表面塗布型製品                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 新技術の概要及び特徴     | 本技術は、アルカリ金属イオンを適性配合することで、コンクリート内部への浸透性を高め、水・塩化物イオンのコンクリート内部への浸透を防止し、表面電位により塩化物イオン等の侵入の抑制を図る。                                                                                                                                                                                 |
| 活用効果評価         | <p><b>所見</b></p> <p>【設計比較対象技術】<br/>本技術は、アルカリ金属イオンを適性配合することで、コンクリート内部への浸透性を高め、水・塩化物イオンのコンクリート内部への浸透を防止し、表面電位により塩化物イオン等の侵入の抑制を図る。特に「工程」について高い評価が得られた。</p> <p>表裏に塗布するだけであり、降雨時の施工も可能であることから、工程の短縮が図られている。</p> <p><b>留意事項</b></p> <p>塗布後の洗浄が不十分の場合は塗布材料が表面で結晶化し、美観を損ねる場合がある。</p> |

| 対象工事   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 項目の平均(点) | 従来技術(点) |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------|---------|
| 経済性    | B | B | B | B | B | B | B | B | B | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B        | B       |
| 品質・出来形 | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C        | C       |
| 安全性    | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C        | C       |
| 施工性    | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C        | C       |
| 環境     | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C        | C       |
| その他    | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C  | C        | C       |
| 施工時評価  | C | B | C | C | C | B | B | B | B | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B        | B       |
| 総合評価   | C | B | C | C | C | B | B | B | B | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B  | B        | B       |

## ◆NETIS掲載を終了した技術について◆

- NETIS掲載期限を迎えた技術は、NETISホームページに「掲載終了予定技術」及び「掲載期間終了技術」のリストが掲載されます。**新技術活用前に必ず確認してください。**

NETIS 新技術情報提供システム  
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 |

NETISのRSS  
配信

RSS

サイトマップ

What's New

6月14日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.5.17

公開NETISのデータ(5月分)を更新しました。2018.5.17

実施規約に基づき、1件の技術についてNETIS掲載を中止します。2018.4.26

5月17日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.4.26

公開NETISのデータ(4月分)を更新しました。2018.4.26

◎平成30年3月末に実施要領のNETIS掲載期限を迎える技術について一覧を掲載します。  
「平成30年3月末に掲載終了となる技術リスト(予定)」  
4月以降は、別途「NETIS掲載期間終了技術リスト」で技術名称等の提供は引き続き行います。2018.3.15

実施規約に基づき、1件の技術についてNETIS掲載を中止します。2018.3.15

4月26日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.3.15

公開NETISのデータ(3月分)を更新しました。2018.3.15

NETIS 新技術情報提供システム  
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 |

NETISのRSS  
配信

RSS

サイトマップ

What's New

6月14日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.5.17

公開NETISのデータ(5月分)を更新しました。2018.5.17

実施規約に基づき、1件の技術についてNETIS掲載を中止します。2018.4.26

5月17日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.4.26

公開NETISのデータ(4月分)を更新しました。2018.4.26

◎平成30年3月末に実施要領のNETIS掲載期限を迎える技術について一覧を掲載します。  
「平成30年3月末に掲載終了となる技術リスト(予定)」  
4月以降は、別途「NETIS掲載期間終了技術リスト」で技術名称等の提供は引き続き行います。2018.3.15

実施規約に基づき、1件の技術についてNETIS掲載を中止します。2018.3.15

4月26日(木)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2018.3.15

公開NETISのデータ(3月分)を更新しました。2018.3.15

# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (施工者希望型)

●平成29年度に施工者希望型として活用された、活用件数の多い新技術は以下のとおりです。

NETIS掲載期間終了技術

| 順位 | NETIS登録番号    | 技術名                                                   | 副題                                                                                 | 工種       | 有用な技術<br>(平成30年6月末現在) |
|----|--------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------|
| 1  | CB-100037-VE | <a href="#">軽トラック積載対応型屋外可搬式トイレユニット</a>                | 車載トイレ                                                                              | 仮設工      |                       |
| 2  | KT-070054    | <a href="#">ジョイントテックスCT-400</a>                       | 洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤                                                                     | コンクリート工  | 活用促進技術                |
| 3  | KT-150006-VE | <a href="#">脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラズ」・「ハイサビラズ」</a>              | コンクリートとの付着を阻害しない鉄筋の防錆剤                                                             | コンクリート工  | 活用促進技術                |
| 4  | CB-080028-VE | <a href="#">とまるくん(普通車用)・(大型車用)</a>                    | 道路工事現場での車両誤進入によるもらい事故防止                                                            | 道路維持修繕工  |                       |
| 5  | KT-140091-VE | <a href="#">インテリジェントマシンコントロール油圧ショベル</a>               | 機体制御とICTの技術を活用したセミオート制御機能搭載油圧ショベル                                                  | 土工       | 活用促進技術                |
| 6  | HK-100045-VE | <a href="#">グレードコントロールシステム</a>                        | 建設機械に取り付けたセンサからの情報を組み合わせ、2D/3Dの設計データを参照しながら建設機械のコントロールやガイダンスを行い、敷均し工・法面整形工・舗装工等を行う | 共通工      | 活用促進技術                |
| 6  | KK-150058-VE | <a href="#">3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた施工土量計測システム</a> | 3次元計測により生成された点群データのスムーズな解析処理により、施工前後および各施工段階での土量の差分を計算するシステム                       | 土工       | 活用促進技術                |
| 8  | SK-080001-VE | <a href="#">塗布型高性能収縮低減剤「クラックセイバー」</a>                 | コンクリート表層部収縮低減、水分逸散抑制によるコンクリート構造物のひび割れ抑制技術                                          | コンクリート工  | 活用促進技術                |
| 9  | KT-100078-V  | <a href="#">ソーラーキングシリーズ</a>                           | 太陽光を利用して2色のLEDを点滅させ、通行人や運転者等に警告を発するソーラー式工事灯                                        | 仮設工      |                       |
| 9  | CB-120016-VE | <a href="#">現場仮設ソーラーシステムハウス</a>                       | 災害対応型現場仮設ソーラーシステムハウス                                                               | 仮設工      |                       |
| 11 | KT-090046-VE | <a href="#">法面2号ユニバーサルユニット自在階段</a>                    | ユニット型昇降設備                                                                          | 仮設工      | 推奨技術<br>設計比較対象技術      |
| 11 | QS-110023-VE | <a href="#">移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」</a>              | 簡単に移動ができるネットワークカメラ、遠隔操作で広範囲をリアルタイムの動画で見れるシステム                                      | 電気通信設備   | 活用促進技術                |
| 13 | KK-100077-VE | <a href="#">EX-TREND武蔵 建設CAD</a>                      | 本技術は、切土・盛土などの数量を自動で取得でき、集計表や塗り潰しなども簡単に行うことができるため作業効率の向上が期待できる。                     | CALS関連技術 |                       |
| 14 | KK-100021-VE | <a href="#">ソーラー式LED表示機</a>                           | ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置                                                        | その他      | 活用促進技術                |
| 15 | QS-080024-VE | <a href="#">星型プラスチックスペーサ</a>                          | コンクリートのひび割れ誘発を抑制し、ジャンカ発生の原因とならないプラスチックスペーサ                                         | 建築       |                       |
| 16 | KK-110050-VE | <a href="#">土木標準積算データを利用した施工管理システム[デキスパート]</a>        | 工程管理、施工計画書、安全管理、CO2排出量管理、出来形管理・写真の電子納品等の施工管理業務支援                                   | CALS関連技術 |                       |
| 17 | KT-120088-VE | <a href="#">ゼスロック</a>                                 | 無溶接による鉄筋締結金具(場所打ち杭/鉄筋組立用)                                                          | 基礎工      |                       |
| 18 | SK-080003-VE | <a href="#">コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイバーネット60」</a>           | 耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリート構造物のひび割れ低減技術                                               | コンクリート工  | 活用促進技術                |
| 18 | KT-100042-VE | <a href="#">大容量燃料タンクを搭載したエコベース発電機及び溶接機</a>            | 長時間運転可能な大容量燃料タンクと、機外への燃料等の流出を防止するエコベースを一体型にしたエンジン発電機及び溶接機                          | 仮設工      | 設計比較対象技術              |
| 18 | KK-100065-VE | <a href="#">AIS機能付バックホウ</a>                           | オートアイドルストップ機能搭載油圧ショベル                                                              | 土工       |                       |
| 18 | KT-110057-VE | <a href="#">フィールドビューモニター</a>                          | 建設車両の後方270度方向パノラマ映像によるモニターシステム                                                     | 道路維持修繕工  |                       |
| 18 | KT-150096-VE | <a href="#">スマートコンストラクションアプリによる出来高・出来形管理システム</a>      | 情報化施工機械の施工情報をクラウドサービス(スマートコンストラクションアプリ)で有効活用する管理システム                               | 土工       | 活用促進技術                |
| 23 | TH-070005    | <a href="#">カプセルブリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)</a>            | 路上工事用標示板向けカプセルブリズム型高輝度再帰反射シート                                                      | 仮設工      |                       |
| 23 | TH-100008-VE | <a href="#">TS・RTK-GPSによる転圧管理システム(GPRoller)</a>       | TS・RTK-GPSを用いた締固め機械の転圧管理システム                                                       | 土工       |                       |
| 25 | CB-100003-VE | <a href="#">ソーラー式カラーユニバーサルデザイン対応保安用品</a>              | 工事用ソーラー式メッセージボード【CMシリーズ】、GPSソーラー式信号機【CGSシリーズ】                                      | 仮設工      |                       |
| 25 | QS-160015-A  | <a href="#">アルミ合金製法面昇降階段「クリフステアー」</a>                 | アルミ合金製による軽量設計により、設置・解体作業の負担を軽減し、法面での安全な昇降を確保                                       | 仮設工      |                       |
| 27 | KT-110001-VE | <a href="#">ブリード・ボンド工法</a>                            | コンクリート打ち継ぎ処理工法                                                                     | コンクリート工  | 活用促進技術                |



# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (施工者希望型)

①

## 軽トラック積載対応型 屋外可搬式トイレユニット CB-100037-VE

日々の移動が伴う工事現場等で軽トラックに積載した状態で使用可能な屋外可搬式トイレユニット。従来は普通トラックに一般仮設トイレを積載して使用していたが、外観上の景観性向上と使用感、衛生面の向上、大型手摺付階段と内開きドアにより安全面の向上を図った。



②

## ジョイントテックスGT-400 KT-070054[活用促進]

本材料はコンクリートの打ち継ぎの際、レイタンスの洗い出しが不要な材料で、従来は表面凝結遅延剤を使用した後、高圧洗浄による洗い出しを行っていた。本技術の活用により打ち継ぎ処理費用の削減、工程の短縮が期待できる。



③

## 脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラズ」「ハイサビラズ」 KT-150006-VE[活用促進]

本技術は、強靱かつ鉄筋の伸縮に追従する塗膜により、鉄筋に有効な防錆力を発揮させる。従来は、露出鉄筋にポリ塩化ビニル系チューブを被せ、工事再開時に剥がすことで対応していた。本技術の活用により、塗布作業だけの工程で防錆処理作業の短縮が図れる。



④

## と ま る く ん (普通車用)・(大型車用) CB-080028-VE

本技術は、道路車線規制において誤って作業域に突入した車両を安全に最短に停止させる技術であり、交通誘導員及び作業員の“生命の安全と安心”を確保し、作業環境を向上させることができる技術である。



⑤

## インテリジェントマシン コントロール油圧ショベル KT-140091-VE[活用促進]

機体制御とICTの技術を活用したセミオート制御機能搭載油圧ショベルで、施工面がモニターに表示されるため、丁張、補助員の削減、省力化が期待できる。



⑥

## グレードコントロールシステム HK-100045-VE[活用促進]

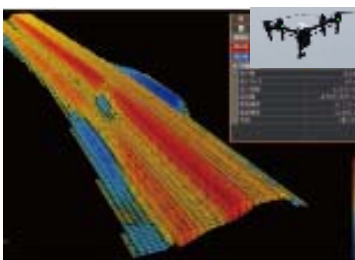
建設機械にセンサを取り付け、施工部の高さ(2D/3D)や位置(3D)を計算し、施工面へのガイダンスを行う。機械によっては施工板の自動制御も可能。測量・補助員などを削減し、立入禁止エリアを警告する。省力化・施工精度向上・安全性向上が期待できる。



⑥

## 3次元点群処理ソフト (TREND-POINT)を用いた 施工土量計測システム KK-150058-VE[活用促進]

本技術は、UAVの空中写真撮影やレーザスキャナで得た点群データを用いたメッシュ土量計算により、時系列土量変化を把握できる技術で、測量、計算時間が短縮され工期短縮と労務費の削減ができる。



⑧

## 塗布型高性能収縮低減剤 「クラックセイバー」 SK-080001-VE[活用促進]

本技術は、塗布型収縮低減剤をコンクリート表面に塗布・含浸することで乾燥収縮及び水分の逸散を抑制する技術であり、コンクリートの耐久性向上に関し、コスト削減、省力化が期待できる。



⑨

## ソーラーキングシリーズ KT-100078-V

本技術は太陽光を利用して2色のLEDを発光させる工事灯で、ソーラーバッテリー式にした事により二次電池を繰り返し充電できるので、電池の廃棄が無く省資源、省エネルギーが期待できる。





# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (施工者希望型)

## ⑨ 現場仮設 ソーラーシステムハウス CB-120016-VE

太陽光設備と現場仮設ハウスを一体化したソーラーシステムハウスで、環境に配慮(GO2削減)・経費・工事期間の短縮等に貢献出来る様に設計した。



## ⑪ 法面2号ユニバーサル ユニット自在階段 KT-090046-VE[推奨技術]

取付角度が自在に設定できるユニット式アルミ合金製階段である。昇降時の安全確保、昇降設備設置・解体時間短縮による、作業効率の大幅改善が期待できる。



## ⑪ 移動式ネットワークカメラ 「モニタリングミックス」 QS-110023-VE[活用促進]

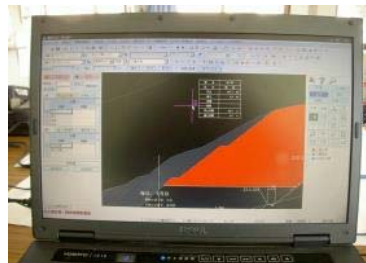
本技術は、遠隔地の動画をリアルタイムにインターネットへ無線で配信でき、パソコンや携帯電話で確認できる。また、各種センサーと連動可能で、見るだけの監視ではなく遠隔操作を含めた幅広い監視が可能となる。



パソコンでモニタリング

## ⑬ EX-TREND武蔵 建設CAD KK-100077-VE

本技術は、切土や盛土などの数量をCADデータの横断面図から自動で取得できる技術であり、土木専用CADによる操作だけの作業のため、本技術の活用により作業効率・精度向上が期待できる。



## ⑭ ソーラー式LED表示機 KK-100021-VE[活用促進]

発電機を使用する製品に比べ、燃料補給の労力がかからず、燃料費も不要である。また、騒音や二酸化炭素ガスの排出等、周辺環境への負荷を大きく軽減することができる。



## ⑮ 星型プラスチックペーサ QS-080024-VE

鉄筋嵌合部とそれから放射状に伸びた2～6本の足部からなる形状のプラスチックペーサであり、コンクリートのジャンカ発生の原因とならず、又、コンクリートとの熱膨張率の差で誘発されるコンクリート表面のひび割れは既存ドーナツの1/2以下に大幅に軽減される。



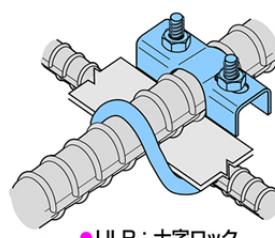
## ⑯ 土木標準積算データを利用した施工管理システム デキスパート KK-110050-VE

本技術は、土木標準積算データを取り込み、工程管理、施工計画書、安全管理、CO2排出量管理、出来形管理、品質管理、写真管理、電子納品等の施工管理業務に利用できるシステムで、従来は手作業で行っていた。本技術の活用により重複入力なく施工管理資料が作成できる。



## ⑰ ゼスロック KT-120088-VE

本技術は、鉄筋の結束を無溶接で行う金具である。従来技術における添え鉄筋の溶接と結束の替わりに、締結金具で固定するだけの製品なので、作業が効率的である。



●ULP：十字ロック

## ⑱ コンクリートひび割れ低減用 ネット「ハイパーネット60」 SK-080003-VE[活用促進]

本技術はコンクリート構造物に発生するひび割れを抑制する技術であり、従来にない技術である。本技術の活用により、耐久性に大きく影響する幅の広いひび割れの発生を抑制することにより、コンクリート構造物の品質の向上が期待される。



# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (施工者希望型)

18

大容量燃料タンクを搭載したエコベース発電機及び溶接機  
KT-100042-VE[設計比較]

本技術は、エンジン発電機を長時間連続運転する為の大容量燃料タンクと防油堤を本体下部に一体化したもので、従来は外部燃料タンク接続方式であった。本技術の活用により、燃料やオイル等の機外流出を防止できるため、周辺環境への影響抑制が期待できる。



18

AIS機能付バックホウ  
KK-100065-VE

本技術は、バックホウ(油圧ショベル)について、一定条件を満たすと自動でエンジンを停止する機能を搭載したバックホウ技術であり、従来は手動で対応していた。本技術は、バックホウ(油圧ショベル)が使用される現場で活用でき、燃料の消費低減効果等が期待できる。



18

フィールドビューモニター  
KT-110057-VE

本技術は、建設車両の後方270度パノラマ映像モニターを用いた作業半径内監視システムであり、従来はカラーコーンによる作業範囲の明示と監視員配置で対応していた。本技術の活用により、建設車両オペレータが直接に車両後方の状況を確認できるため安全性が向上する。

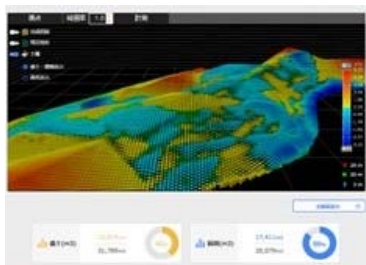


モニタ上のパノラマ映像

18

スマートコンストラクションアプリによる出来高・出来形管理システム  
KT-150096-VE[活用促進]

本技術はクラウド型プラットフォームを利用した土工の出来高出来形管理システムで、日々の測量集計の管理が自動化され、省力化、工期の短縮及び経済性の向上が図れる。



23

カプセルブリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)  
TH-070005

従来技術より、製造時のCO2排出量を、40%削減し、更に硬質の表面層を有し、路上工事用標示板として設置、撤去の繰り返しに耐え、標示機能の維持性能に期待できる。



23

TS・RTK-GPSによる転圧管理システム(GP Roller)  
TH-100008-VE

本技術は、締固め機械による締固め作業において、施工時の転圧回数並び走行軌跡をリアルタイムに測定・表示する技術である。これらのデータは、電子データとして保存・帳票出力することが可能であり、締固め作業の効率化と品質の向上が見込まれる。



25

ソーラー式カラーユニバーサルデザイン対応保安用品  
CB-100003-VE

ソーラー電源(太陽電池+蓄電池)駆動で環境対策、省エネ化を図り、又LED使用において誰が見やすい様に色覚の個人差(色弱者)に配慮した表示を行い、GPS利用で利便性を向上させた保安機器。



25

アルミ合金製法面昇降階段「クリフステアー」  
QS-160015-A

法面に設置する階段で、アルミ合金製による軽量化により、設置・解体作業の負担を軽減する仮設階段である。従来は、単管パイプと自在ステップを組み合わせた階段であった。本技術の活用により、施工性の向上及び経済性の向上が期待できる。



27

ブリード・ボンド工法  
KT-110001-VE[活用促進]

本技術は、コンクリート打継面に打継処理材を散布しコンクリート表層部を強固にする技術であり、打継面処理の作業工程を大幅に削減・簡易化できる。





# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (発注者指定型)

●平成29年度に発注者指定型として活用された、活用件数の多い新技術は以下のとおりです。

NETIS掲載期間終了技術

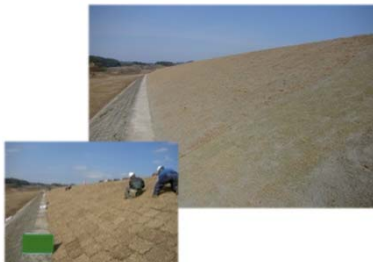
| 順位 | NETIS登録番号    | 技術名                                           | 副題                                                                | 工種      | 有用な技術<br>(平成30年6月末現在) |
|----|--------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------|
| 1  | QS-120024-VE | <a href="#">改良芝品種「エルトロ」・「ピクトール」を用いたロール芝工法</a> | 維持管理コストを抑えた上での良質なターフの形成                                           | 共通工     |                       |
| 2  | QS-110002-VE | <a href="#">アジャストーン</a>                       | 砕石場の副産物を規格化するとともに、コンクリート塊の再利用を促進した材料である                           | 共通工     |                       |
| 3  | KK-070008    | 抵抗板付鋼製杭基礎(ポールアンカー100型)                        | 道路標識柱及び道路照明柱用基礎                                                   | 基礎工     | 準推奨技術<br>活用促進技術       |
| 4  | QS-030004    | リベスジョイント工法                                    | 路床・路盤工にFe石灰系処理材を用いた長寿命化舗装                                         | 舗装工     |                       |
| 4  | KT-070009    | ALiCC工法                                       | 低改良率セメントコラム工法                                                     | 共通工     |                       |
| 4  | CB-080011-VR | <a href="#">エポガードシステム</a>                     | 鋪転換型防食塗装                                                          | 道路維持修繕工 | 活用促進技術                |
| 4  | QS-090004-VE | <a href="#">WILL工法(スラリー揺動攪拌工)</a>             | 中層混合処理工法                                                          | 共通工     | 活用促進技術                |
| 4  | QS-130016-VE | <a href="#">固まる簡易舗装材 カタマSP</a>                | 鉄鋼スラグを用いた散水・転圧で固まる簡易舗装材                                           | 舗装工     | 活用促進技術                |
| 9  | CG-980018    | 多機能フィルター                                      | 被覆材による法面保護と植生                                                     | 共通工     | 活用促進技術                |
| 9  | KK-020004    | ライン導水ブロック-F型                                  | 小型水路内蔵型歩車道境界ブロック                                                  | 付属施設    | 活用促進技術                |
| 9  | CB-050039    | グレーチングホルダー                                    | グレーチング飛散(跳ね上がり)防止金具                                               | 道路維持修繕工 | 設計比較対象技術              |
| 9  | KK-090019-VE | <a href="#">レジン製軟質点字タイル</a>                   | 視覚障がい者誘導用レジン(アクリル樹脂)製軟質点字タイル                                      | 付属施設    | 活用促進技術                |
| 9  | QS-090025-VE | <a href="#">国産環境型レンガ</a>                      | 【火山灰及び浄水廃土を利用した保水透水舗装レンガ】                                         | 舗装工     |                       |
| 9  | CG-110022-VE | <a href="#">「省力化かご工」ハイパーマット多段積型</a>           | 耐久性・施工性に優れた垂鉛アルミ合金先めっき溶接金網で構成されるかご工                               | 共通工     |                       |
| 15 | CB-010039    | 強壮雑草抑止用防草シート「チガヤシート」                          | チガヤ、ススキ、アシ、ヨシ、セイタカアワダチソウ等の強壮雑草を完全抑止できる防草シート                       | 道路維持修繕工 | 活用促進技術<br>設計比較対象技術    |
| 15 | KK-020061    | アデムウォール                                       | 多機能で耐久性に優れたジオテキスタイル補強土壁                                           | 共通工     | 準推奨技術<br>活用促進技術(旧)    |
| 15 | CB-040027    | プランツソイル工法                                     | 恒久性の高い法面緑化工法                                                      | 共通工     |                       |
| 15 | KT-070047    | 無溶剤タイプジェル状シラン系表面含浸材                           | コンクリート構造物の耐久性を向上させるシラン系浸透性コンクリート保護材                               | 道路維持修繕工 | 活用促進技術<br>設計比較対象技術    |
| 15 | QS-120021-VE | <a href="#">SEリミッター</a>                       | プレハブ型の橋梁用変位制限構造                                                   | 道路維持修繕工 |                       |
| 20 | CB-980012    | パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)                          | 浅層・中層混合処理工                                                        | 共通工     | 推奨技術<br>設計比較対象技術      |
| 20 | KT-980135    | LDIS(エルディス)工法                                 | 低変位高圧噴射攪拌工法                                                       | 共通工     | 準推奨技術<br>活用促進技術       |
| 20 | KT-980205    | エポコラム工法(地盤改良工法)                               | エポコラム-Loto工法(大口径φ2,500地盤改良工法)                                     | 共通工     | 準推奨技術<br>設計比較対象技術     |
| 20 | KT-990309    | SEEE永久グラウンドアンカー工法タイプアンカーU型                    | ダブルアンカーU型、ダブルアンカーM型                                               | 共通工     |                       |
| 20 | QS-040016    | SEEE/KIT受圧板                                   | グラウンドアンカー用鋼製受圧板                                                   | 共通工     | 活用促進技術                |
| 20 | QS-050019    | サイクルハンマー工法(ロータリーテーブル式)                        | 超高周波型エアサイクルビットによるロータリーテーブル式大口径掘削                                  | 基礎工     | 活用促進技術                |
| 20 | QS-060012    | スーパーテールアルメ工法                                  | 補強材の最適配置と壁面材の大型化を実現した補強土壁工法                                       | 共通工     |                       |
| 20 | KT-070038    | MMA点字タイル                                      | 視覚障害者誘導用MMA樹脂製点字タイル                                               | 付属施設    | 準推奨技術<br>活用促進技術       |
| 20 | KK-100009-VR | <a href="#">N-SSI工法</a>                       | 「塩分吸着剤」による高防錆型断面補修工法                                              | 道路維持修繕工 |                       |
| 20 | KK-100013-VR | <a href="#">RCGインナーシール</a>                    | 粒子コロイドコンクリート含浸保護材                                                 | コンクリート工 |                       |
| 20 | QS-100022-VE | <a href="#">GIコラム工法</a>                       | 軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)                                                  | 共通工     | 活用促進技術                |
| 20 | KT-120008-A  | <a href="#">コンパクト ストッパー (KCS)</a>             | 橋梁用の上揚力対応型水平ストッパー                                                 | 道路維持修繕工 |                       |
| 20 | QS-150009-A  | <a href="#">MaxBox+ (マックスボックス プラス)工法</a>      | PC鋼材の緊張力により接合する「PC圧着工法」を採用した多分割式プレキャストボックスカルバートで多連式カルバートにも適用できる工法 | 共通工     |                       |
| 33 | KT-130009-A  | <a href="#">シリケートガード</a>                      | コンクリート表面の緻密化により劣化を抑制し耐摩耗性を向上させるけい酸塩系表面含浸材                         | 道路維持修繕工 |                       |
| 33 | SK-140006-VR | <a href="#">コンクリート剥落防止対策ネット工法</a>             | メッシュシート(スマートメッシュ)によるコンクリート片の剥落防止対策工法                              | 道路維持修繕工 |                       |
| 33 | QS-160001-A  | <a href="#">電線共同溝用ステンレス製内蓋</a>                | 閉め忘れ防止機能付きセキュリティ内蓋                                                | 電気通信設備  |                       |
| 33 | KT-160028-A  | <a href="#">GU(ジーユー)ブロック置きタイプ</a>             | 道路規制箇所等で用いられる仮設柵用基礎ブロック                                           | 付属施設    |                       |

# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (発注者指定型)

①

## 改良芝品種「エルトロ」・「ピクトール」を用いたロール芝工法 QS-120024-VE

本技術は、改良芝品種「エルトロ」・「ピクトール」の大型ロール張芝工法で、芝が上方向に伸びず、横方向に伸びることから維持管理コスト削減が図られると共に品質の向上が期待できる。



②

## アジャストーン QS-110002-VE

本技術は、砕石場の岩ズリ等を破砕、調整（フルイ選別・コンクリートガラを配合調整）した製品である。安定した品質そして建設副産物の再利用や地域環境への影響抑制を目的とした製品である。



③

## 抵抗板付鋼製杭基礎 (ポールアンカー100型) KK-070008[準推奨技術]

本技術は、道路付属物(道路標識柱、道路照明柱や多目的柱等)の基礎工において、軟弱地盤、狭路(きょうあい)な場所、埋設物を避けての基礎構築が可能な工法である。基礎は鋼製杭、フランジ、抵抗板(回転防止)から構成され、専用杭打機にて迅速に施工できる工法である。



④

## リベースジョイント工法 QS-030004

本技術は、構築路床としてFe石灰処理土、上層路盤(下部)に粒調Fe処理材、上層路盤(上部)に瀝青安定処理や大粒径アスコンまたは砕石等を舗設し、舗装の長寿命化・道路交通振動の低減を図る工法である。



④

## A L i C C 工法 KT-070009

本技術は、圧密沈下低減対策の深層混合処理工法であって、経済的な改良仕様を決定する技術である。従来は応力分担比を一定値として改良仕様を決定していた。本技術の活用により、圧密沈下低減対策として工期短縮とコスト削減が期待できる。



④

## エポガードシステム CB-080011-VR[活用促進]

長期に安全な鉄鋼面の防食システムを目的としている。腐食した鉄鋼部分をクレン後腐食した赤錆を安定な黒錆に転換し、その上に用途に応じた塗料を塗装することにより長期にわたり防食し延命させる技術である。



④

## W I L L 工法 (スラリー 撹拌工) QS-090004-VE[活用促進]

2タイプのリボンスクリュー型撹拌翼とブーメランプレートとを使い分けることにより、軟弱な粘性土地盤はもとより、N値40までの砂質土地盤に固化材を注入しながら撹拌撹拌混合し、安定した改良体を形成する工法である。



④

## 固まる簡易舗装材 カタマSP QS-130016-VE[活用促進]

本材料は、簡易舗装材で、鉄の製造過程で発生する高炉水砕と製鋼スラグを100%リサイクル利用し、スラグ特有の水と反応して固まる省エネルギー、省資源に優れた材料である。



⑨

## 多機能フィルター CG-980018[活用促進]

マットを敷設するだけでフィルター構造の不織布の機能により土粒子の動きを止め、雨水等による侵食を防ぐことができるため、流末への環境保全のみならず、草本類、木本類の計画的導入が可能となる。





# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (発注者指定型)

⑨

## ライン導水ブロック-F型

KK-020004[活用促進技術]

緑石に排水機能を持たせた側溝である。路面の雨水をスリットにより集水するので路面溢水を防止することにより車両による水はねを抑制出来る。また、街渠エプロン部が不要となることにより路側まで路面横断勾配が一定となり二輪車の走行安全性が確保出来る。



⑨

## グレーチングホルダー

CB-050039[設計比較]

既設のグレーチングに本製品を取り付けるだけで、簡単にグレーチング蓋の跳ね上がり防止が可能である。工期も大幅に短縮でき経済性、作業性とも飛躍的に向上する。



⑨

## レジン製軟質点字タイル

KK-090019-VE[活用促進]

本製品は従来技術のコンクリート製の誘導用点字ブロックに対する新技術である。本製品はアクリル樹脂を使用した新素材のレジン(アクリル樹脂)製軟質点字タイルのため、舗装部の不陸に追従する。また速乾性の接着剤を使用するため、工期短縮が可能となる。



⑨

## 国産環境レンガ

QS-090025-VE

火山灰及び浄水廃土を利用し、省エネ窯により焼成した保水透水舗装用レンガ。



⑨

## 「省力化かごエ」ハイパーマット多段積型

CG-110022-VE

本技術は、耐久性・自立性に優れた亜鉛アルミニウムめっき溶接金網により構成されるかごエで、従来はふんかご(階段式)で対応していた。本技術の活用により耐久性の向上・工期の短縮が図られる。



⑮

## 強壮雑草抑止用防草シート「チガヤシート」

CB-010039[活用促進]

雑草の発生を防ぐための技術であり、従来は対症的に年2回程度の草刈に対応していた。本技術の活用により、長期的視点での雑草管理の手間の軽減、雑草(産業廃棄物)処分量の削減などの効果が期待できる。



⑮

## アデムウォール

KK-020061[準推奨技術]

アデムを配置して補強した盛土(補強盛土体)と壁面材とを変形吸収層を介して一体化させた二重壁構造。「壁面勾配の調整」「壁面あと施工による壁面変形の抑制」「センサー機能による盛土の健全度評価」「壁面の補修・取替え」等が可能な、多機能な補強土壁工法。



⑮

## プランツソイル工法

CB-040027

無機質(土)系の基盤材に微生物(通性嫌気発酵菌)群を配合する事で恒久性の高い法面緑化を可能とした。コンクリート面なども緑化可。材料には、再生資源を利用。無機系の浸食防止材を採用し地山と基盤の密着性が向上し急勾配緑化も可。(エトリンガイドの効果)



⑮

## 無溶剤タイプジェル状シラン系表面含浸材

KT-070047[活用促進]

本技術はシラン系表面含浸材によるコンクリート保護に関するもので、従来は表面被覆材で対応していた。本技術の活用によりコンクリート構造物を簡便に、低コストで、長期間水や塩分などの劣化因子から保護し、コンクリート構造物の耐久性向上と景観維持が期待できる。



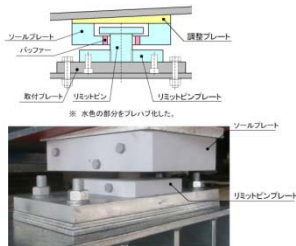
# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (発注者指定型)

15

S E リ ミ ッ タ ー

QS-120021-VE

橋梁上下部構造間の相対変位を制限する変位制限構造である。従来のアンカーバー方式による変位制限構造に対し、高い防錆性能の確保と下部工側突起の点検を容易にしたと共に、コンパクト化してプレハブ型にしたことで、工期短縮、施工性の向上、コスト削減を可能にした。



20

パワーブレンダー工法  
(スラリー噴射方式)  
CB-980012[推奨技術]

トレンチャー式攪拌機を改良機本体に装着して改良材(セメント系固化材等)を対象地盤中にスラリー噴射しながら攪拌混合する工法である。改良深度は最大13m程度(実績13.9m)可能である。



20

LDis(エルディス)工法  
KT-980135[準推奨技術]

高圧噴射工法と機械攪拌工法を併用する周辺地盤変位低減型の高圧噴射地盤改良工法で、周辺地盤の変位低減、排泥低減、コスト削減が期待出来る。



20

エポコラム工法  
(地盤改良工法)  
KT-980205[準推奨技術]

本技術は、エポコラム翼(複合相対回転翼)を使用して、現位置土とセメント系スラリーの固化材とを機械攪拌して、ソイルセメントコラムを築造する工法である。従来技術に対してコスト削減・工期の短縮が実現した。



20

SEEE永久グラウンドアンカー  
工法タイプルアンカーU型  
KT-990309

アンカー材を細径化したナット定着圧縮型永久グラウンドアンカー工法である。従来は高腐食環境下の使用を想定していたため材料径が大きくなり工事費も高価となる問題があった。本技術の活用により材料が細径化・軽量化され、経済的なアンカー工事を実施できる。



20

SEEE / KIT 受圧板  
QS-040016[活用促進]

本技術は、斜面安定・地すべり抑制に用いられるグラウンドアンカー用の反力体である。角形鋼管を井形に組み合わせ底面に鋼板を張り合わせた構造であり、受圧面積がやや小さく比較的硬質な地盤に対応するKITクロスタイプと、受圧面積が大きく軟質地盤に対応するKITセミスクエアタイプの2種類がある。



20

サイクルハンマー工法  
(ロータリーテーブル式)  
QS-050019[活用促進]

土留工などの杭打設において、硬質地盤を削孔する工法である。超高周波型サイクルビットの開発により、硬質地盤を微振動衝撃破砕する方式の、削孔速度が速く、格段の工程短縮が図れる。



20

スーパーテールアルメ工法  
QS-060012

テールアルメ工法の壁面部材を大型シンプル形状とし、省力化・省資材を実現した新しい補強土壁工法である。本技術の活用により、経済性および施工性、安全性、景観性の向上が期待できる。



20

MMA点字タイル  
KT-070038[準推奨技術]

本技術は、MMA樹脂一体成型の視覚障害者誘導用点字タイルと同材質接着剤の組み合わせで、従来はコンクリート製視覚障害者誘導用ブロックで対応していた。本技術の活用により、路面掘削が不要で短時間に設置路面に直接固着でき、コスト削減及び品質の向上が期待できる。





# ◆九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術◆ (発注者指定型)

②①

N - S S I 工 法

KK-100009-VR

本工法は、飛来塩分や凍結防止材による塩害で劣化したコンクリート構造物に対する高防錆型断面修復工法である。材料は、「塩分吸着剤」を添加したポリマーセメント系で構成され、補修部位の劣化状況や塩化物イオン量に応じて材料を加減することにより、コストを削減できる。



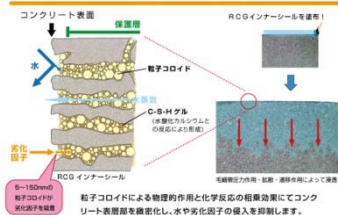
②①

R C G インナーシール

KK-100013-VR

本技術は主成分の粒子コロイドと化学反応の相互効果でコンクリート躯体を保護する技術です。本技術の活用により、コスト削減、工期短縮、品質の向上、また、施工確認用着色剤(α工法)により施工確認が目視または写真で可能となり施工性も向上する。

RCGインナーシールのメカニズム



②①

G I コ ラ ム 工 法

QS-100022-VE[活用促進]

小型の地盤改良機で大型機並みの改良径・改良長(改良径φ1600・改良長20m)まで、ロッドの巻き切り無しで施工可能である。軟弱地盤中にスラリー状のセメント系固化材を注入しながら、土と固化材を機械的に混合攪拌し、良質な改良地盤を形成する工法である。

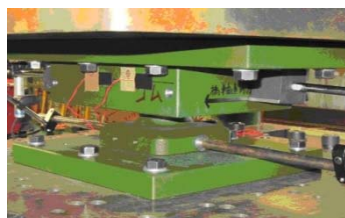


②①

コンパクト ストッパー (KCS)

KT-120008-A

本技術は水平2方向及び上向き(上揚力)の地震力に抵抗する緩衝ゴム付き変位制限装置であり、従来は鋼製ブラケットによる変位制限装置により対応していた。本技術の活用により、上向き地震力に抵抗可能な構造としたことにより、地震時における品質の向上となる。



②①

M a x B o x +

(マックスボックス プラス)工法

QS-150009-A

本技術は、多分割式のプレキャストボックスカルバート工法である。分割製造した部材を組立てて構築するため、設計条件に応じて多様な寸法に対応可能で、多連式カルバートにも適用できる工法である。プレキャスト化により省人化や工期短縮が期待できる。



③③

シリケート ガード

KT-130009-A

本技術は、施工時に反応促進剤を混合する2液性のけい酸塩系表面含浸材で、従来は1液性のけい酸塩系表面含浸材で対応していた。本技術の活用により、1回の塗布回数で施工できるため、施工性が良くなり、工期の短縮、経済性の向上が図れる。



③③

コンクリート剥落防止対策

ネ ッ ト 工 法

SK-140006-VR

本技術は、コンクリート片のはく落防止対策ネット工法で、従来のはつり・断面修復工法に比べ、本技術の活用により短時間で経済的に剥落防止が可能となり、施工後にはひび割れ等の目視観察ができる他、容易に部分補修が図れる。



③③

電 線 共 同 溝 用

ステンレス製内蓋

QS-160001-A

電線共同溝内部にシリンダー錠付ステンレス製内蓋を取り付ける事により、地上面は鍍鉄蓋、内部はステンレス蓋の二重構造となり、特殊な鍵による第三者不正侵入の防止及び鍍鉄蓋落下によるケーブル損傷事故等を防止するセキュリティ性の高い製品である。



③③

G U ( ジ ー ユ ー )

ブロック置式タイプ

KT-160028-A

本技術は、道路規制箇所等に用いられる仮設擁用基礎に関するものでプレキャスト連続基礎としたものであり、従来は現場製作単独基礎で対応していた。本技術の活用により衝突エネルギー吸収量が増え安全性が向上し、現場製作をプレキャスト化したことで施工性も向上する。





# ◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された 新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆ (全ての活用型を含む)

●平成29年度に活用された「九州の技術」は以下のとおりです。

「九州の技術」：九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術

NETIS掲載期間終了技術

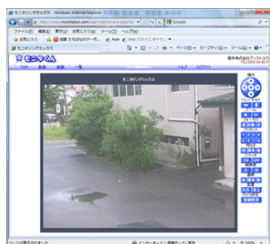
| 順位 | NETIS登録番号    | 技術名                                                                | 副題                                                                   | 工種      | 有用な技術<br>(平成30年6月末現在) |
|----|--------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------|
| 1  | QS-110023-VE | <a href="#">移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」</a>                           | 簡単に移動ができるネットワークカメラ、遠隔操作で広範囲をリアルタイムの動画で見れるシステム                        | 電気通信設備  | 活用促進技術                |
| 2  | QS-080024-VE | <a href="#">星型プラスチックスぺーサ</a>                                       | コンクリートのひび割れ誘発を抑制し、ジャンカ発生の原因とならないプラスチックスぺーサ                           | 建築      |                       |
| 3  | QS-090037-VE | <a href="#">カウイオイルキャッチャー</a>                                       | 天然繊維主体の高性能油吸着材                                                       | 河川維持    |                       |
| 3  | QS-110005-V  | <a href="#">横帯ブロック</a>                                             | 横帯工用埋設型枠ブロック                                                         | 河川海岸    | 活用促進技術(旧)             |
| 3  | QS-120019-VE | <a href="#">ブッシュチョッパー&amp;アースシェーバー</a>                             | 雑草雑木の粉砕及び回収装置                                                        | 河川維持    | 推奨技術<br>活用促進技術        |
| 6  | QS-110002-VE | <a href="#">アジャストーン</a>                                            | 砕石場の副産物を規格化するとともに、コンクリート塊の再利用を促進した材料である                              | 共土工     |                       |
| 7  | QS-090004-VE | <a href="#">WILL工法(スラリー振動攪拌工)</a>                                  | 中層混合処理工法                                                             | 共土工     | 活用促進技術                |
| 7  | QS-110027-VE | <a href="#">プロテックPコン</a>                                           | 塩害・腐食性環境におけるコンクリート構造物の型枠組立締結具(海岸、河川、水中、地下構造物等)                       | コンクリート工 | 活用促進技術                |
| 9  | QS-030004    | <a href="#">リベ-スジョイント工法</a>                                        | 路床・路盤工にFe石灰系処理材を用いた長寿命化舗装                                            | 舗装工     |                       |
| 9  | QS-100022-VE | <a href="#">Qロラム工法</a>                                             | 軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)                                                     | 共土工     | 活用促進技術                |
| 9  | QS-130010-A  | <a href="#">ハンドガイド式草刈機ブッシュカッタージョージ</a>                             | 操縦者の安全性を向上させたハンドガイド式草刈機                                              | 河川維持    |                       |
| 9  | QS-130020-VE | <a href="#">マンガ安全建設看板</a>                                          | ストーリー漫画標識ユニット                                                        | 仮設工     |                       |
| 9  | QS-140003-A  | <a href="#">自走式仮設水洗トイレカー</a>                                       | 排泄物を積んだまま公道走行可能な自走式仮設水洗トイレ車両                                         | 仮設工     |                       |
| 14 | QS-090025-VE | <a href="#">固産環境型レンガ</a>                                           | 【火山灰及び浄水廃土を利用した保水透水舗装レンガ】                                            | 舗装工     |                       |
| 14 | QS-120002-VE | <a href="#">ECO-SAM(エコサム)</a>                                      | 事故削減と燃費向上に寄与するGPSを利用したローコストソリューション                                   | ITS関連技術 |                       |
| 14 | QS-140005-A  | <a href="#">小口止用サイドブロック</a>                                        | 小口止用ブロックの積み上げによる安全性、施工性の向上                                           | 河川海岸    |                       |
| 17 | QS-100020-VE | <a href="#">防音タイプ油圧ブレーカ</a>                                        | TNB静音ブレーカ(USシリーズ)による静音化建設工事の実現                                       | 共土工     |                       |
| 17 | QS-150001-A  | <a href="#">NCショット</a>                                             | 高炉水砕スラグを独自の球形化技術により加工し、ポリマーセメントモルタルの細骨材として利用                         | 道路維持修繕工 |                       |
| 17 | QS-150028-A  | <a href="#">PC横帯エブロック「横づな」</a>                                     | 省力化・省人化・効率施工 プレキャスト横帯エブロック                                           | 河川海岸    |                       |
| 17 | QS-150035-A  | <a href="#">雑草アタックス土系舗装材</a>                                       | 竹短繊維補強材入り環境型土系舗装材                                                    | 舗装工     |                       |
| 21 | QS-050019    | <a href="#">サイクルハンマー工法(ロータリーテーブル式)</a>                             | 超高周波型エアサイクルビットによるロータリーテーブル式大口径掘削                                     | 基礎工     | 活用促進技術                |
| 21 | QS-150009-A  | <a href="#">MaxBox+ (マックスボックス プラス)工法</a>                           | PC鋼材の緊張力により接合する「PC圧着工法」を採用した多分割式プレキャストボックスカルバートで多連式カルバートにも適用できる工法    | 共土工     |                       |
| 21 | QS-150021-VE | <a href="#">自然災害防災システム ZEROSAI</a>                                 | 建設現場に設置した気象測器から観測データをリアルタイムに収集し高精度な気象予測を行い、それを迅速かつ確実に伝達するシステム        | 調査試験    |                       |
| 24 | QS-070021    | <a href="#">レインスルー</a>                                             | 透水性アスファルト舗装用埋設蓋                                                      | 共土工     | 活用促進技術<br>設計比較対象技術    |
| 24 | QS-120011-VE | <a href="#">生コン温度抑制対策『ファームバリア』プラス(旧技術名 生コン車温度抑制対策『ファームバリア』プラス)</a> | 生コンクリートの温度上昇抑制による暑中コンクリートの品質低下防止策                                    | コンクリート工 |                       |
| 24 | QS-130013-VR | <a href="#">草刈機安全補助用具「草刈達人かるべえ」</a>                                | 草刈機の刃を覆う事で、刈り刃をガードし安全に作業が出来ます。                                       | 道路維持修繕工 |                       |
| 24 | QS-150004-A  | <a href="#">作業者接近検知システム</a>                                        | 検知機を搭載した建設機械と、ICタグを装着した作業者の双方に接近(危険)を警告するシステム。                       | その他     |                       |
| 24 | QS-160054-A  | <a href="#">長崎差しトゲ無し玉掛けワイヤ</a>                                     | 玉掛けワイヤのアイ加工に際し、鋭利な端末トゲを表面に出さない籠差し・被せ編みすることで、その危険性を軽減し、玉掛け作業効率を向上させた。 | 仮設工     |                       |
| 24 | QS-170005-A  | <a href="#">クマンツメ</a>                                              | 橋面舗装2次切削ツール                                                          | 道路維持修繕工 |                       |
| 24 | QS-170013-A  | <a href="#">タスカルN中和濁水処理装置</a>                                      | タスカルNph処理剤、凝集沈降剤をオリジナル攪拌機で瞬時に反応させる事により安価で小型の中和濁水処理装置                 | 仮設工     |                       |
| 24 | QS-170014-A  | <a href="#">スイングブラケット工法</a>                                        | 法面作業の安全性と施工性の向上が図れる親綱支持装置(ロープマスター)を用いた工法                             | 共土工     |                       |
| 32 | QS-980144    | <a href="#">KCライン側溝</a>                                            | 街路型落蓋側溝、街路型自由勾配側溝                                                    | 共土工     |                       |
| 32 | QS-030044    | <a href="#">スチール透水蓋工法</a>                                          | 排水性舗装におけるスチール透水蓋を用いた側溝改造工法                                           | 道路維持修繕工 | 設計比較対象技術              |
| 32 | QS-030051    | <a href="#">Gr-L型擁壁</a>                                            | 車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁                                                | 共土工     | 活用促進技術                |
| 32 | QS-050011    | <a href="#">グラベル工法</a>                                             | 団粒効果による法面侵食防止および植生促進                                                 | 共土工     | 設計比較対象技術              |
| 32 | QS-070009    | <a href="#">ケスタ</a>                                                | 「多自然川づくり」に最適な覆土工法用ブロック                                               | 河川海岸    |                       |
| 32 | QS-090001-VE | <a href="#">Dロラム工法</a>                                             | 機械攪拌式スラリー工法                                                          | 共土工     |                       |
| 32 | QS-090030-VE | <a href="#">モルタル吹付工水抜き穴補強筋</a>                                     | モルタル吹付層の水抜き穴周辺のひび割れ抑制及び水抜きパイプ固定用鉄筋                                   | 共土工     |                       |
| 32 | QS-100005-VE | <a href="#">コンクリート混和材(CfFA:改質フライアッシュ)</a>                          | 石炭火力発電設備排出のフライアッシュを活用したコンクリート混和材料                                    | コンクリート工 |                       |
| 32 | QS-100014-VE | <a href="#">交通整理灯G&amp;R G&amp;Rロング</a>                            | 発光色の変更により安全な誘導が可能な合図灯                                                | 付属施設    |                       |
| 32 | QS-110040-VE | <a href="#">スマートセンサ型枠システム</a>                                      | 再使用型枠にセンサを取り付ける事で、温度・姿勢・静電容量を管理し、コンクリートの強度発現を推定できるシステム               | コンクリート工 |                       |
| 32 | QS-110041-VE | <a href="#">KCスタンドフォーム</a>                                         | 高性能FRC製埋設型枠                                                          | コンクリート工 |                       |
| 32 | QS-120012-A  | <a href="#">無線による建設機械等の安全停止装置</a>                                  | 無線により遠隔から建設機械等の安全停止が可能な装置                                            | 機械設備    |                       |
| 32 | QS-120014-A  | <a href="#">ビッグスケール</a>                                            | 大型積みブロック擁壁であり、1型の波形形状となっているので隣り合うブロックを前後に重ねながら施工を行う。                 | 共土工     |                       |
| 32 | QS-130026-A  | <a href="#">噴流式pH処理装置</a>                                          | 炭酸ガスを使用したアルカリ性排水の自動制御中和装置                                            | 仮設工     |                       |
| 32 | QS-130037-A  | <a href="#">ピット側溝</a>                                              | 蓋版の種類を自由に変わることができ、底版調整コンクリートの施工が容易な自由勾配側溝                            | 共土工     |                       |
| 32 | QS-140013-A  | <a href="#">湿式ポリマーセメントモルタルの品質管理試験器『やわらか管理くん』</a>                   | ポリマーセメントモルタルの品質を現場で簡易かつ短時間に測定                                        | コンクリート工 |                       |
| 32 | QS-150016-A  | <a href="#">フリー ドリッパー工法</a>                                        | 鋳鉄製品対応の開閉機                                                           | 道路維持修繕工 |                       |
| 32 | QS-150040-A  | <a href="#">排水型歩車道境界ブロック</a>                                       | 歩行者や自転車の快適な通行が実現                                                     | 共土工     |                       |
| 32 | QS-160017-A  | <a href="#">AKフレーム工法</a>                                           | 高耐久簡易吹付枠工                                                            | 共土工     |                       |
| 32 | QS-160031-A  | <a href="#">無線遠隔操縦等の小型船舶による高精度深淺測量システム</a>                         | 動揺センサー搭載によるリアルタイム補正                                                  | 調査試験    |                       |
| 32 | QS-160040-A  | <a href="#">貼ってはがせるクラックスケール「Hurry(ハリー)」</a>                        | 構造物などの亀裂や隙間などに直接貼ってはがせるクラックスケール                                      | 調査試験    |                       |
| 32 | QS-160043-A  | <a href="#">エレクトロリムーバー</a>                                         | 電磁波誘導加熱による有害物質を含んだ塗膜除去補助工法                                           | 道路維持修繕工 |                       |
| 32 | QS-170008-A  | <a href="#">保安用品等に用いるプリズム反射蓄光シート「アルファ・プリズム」</a>                    | 保安用品等に用いる反射機能と蓄光機能を併せ持ったプリズム反射蓄光シート                                  | 仮設工     |                       |

◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された  
新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆  
(全ての活用型を含む)

①

移動式ネットワークカメラ  
「モニタリングミックス」  
QS-110023-VE[活用促進]

本技術は、遠隔地の動画をリアルタイムにインターネットへ無線で配信でき、パソコンや携帯電話で確認できる。また、各種センサーと連動可能で、見るだけの監視ではなく遠隔操作を含めた幅広い監視が可能となる。



パソコンでモニタリング

②

星型プラスチックスペーサ  
QS-080024-VE

鉄筋嵌合部とそれから放射状に伸びた2～6本の足部からなる形状のプラスチックスペーサであり、コンクリートのジャンカ発生の原因とならず、又、コンクリートとの熱膨張率の差で誘発されるコンクリート表面のひび割れは既存ドーナツの1/2以下に大幅に軽減される。



③

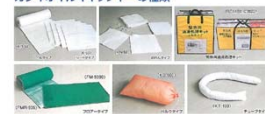
カクイオイルキャッチャー  
QS-090037-VE

植物系セルロース中空繊維主体の天然系油吸着材である。栽培された綿を使用しているため自然破壊がない。また水をほとんど吸わず油だけ吸う。自重の30倍以上の吸着力を有し、水に沈まない。



写真1 海上流出油の吸着 写真2 海上流出油の吸着

カクイオイルキャッチャーの種類



③

横帯ブロック  
QS-110005-V[活用促進(旧)]

河川護岸において、延長方向の一定区間毎に横帯工を設け、護岸の変位や破損が他に波及しないよう絶縁するためのコンクリート二次製品。



③

ブッシュチョッパー  
& アースシェーバー  
QS-120019-VE[推奨技術]

道路、法面、河川敷の竹やぶ、雑草や雑木(φ10cmまで)を、0.45m3級のバックホウにブッシュチョッパーを装着し、1cm～20cmに粉碎する。搬出が必要な場合は、アースシェーバー(集積ボックス)を装着することで、直接ダンプに積み込みができる。



⑥

アジャストーン  
QS-110002-VE

本技術は、碎石場の岩ズリ等を破砕、調整(フルイ選別・コンクリートガラを配合調整)した製品である。安定した品質そして建設副産物の再利用や地域環境への影響抑制を目的とした製品である。



破砕前コンクリート塊 山砂(シラス)採取場 余剰リサイクル材及び山砂(シラス)採取場

⑦

W I L L 工 法  
(スラリー 揺動攪拌工)  
QS-090004-VE[活用促進]

2タイプのリボンスクリュー型攪拌翼とブームランプレートとを使い分けることにより、軟弱な粘性土地盤はもとより、N値40までの砂質土地盤に固化材を注入しながら揺動攪拌混合し、安定した改良体を形成する工法である。



⑦

プロテックPコン  
QS-110027-VE[活用促進]

本製品は、セラミックス製の丸セパレータ用型枠締結具である。従来のプラスチックコーンの穴跡埋めモルタルでの防錆対策を、セラミックススリーブの孔にエラストマー製埋込み栓を押し込み密閉することにより、止水性を高め、漏水・塩害・抜け落ちの不安を解決した。



⑨

リベースジョイント工法  
QS-030004

本技術は、構築路床としてFe石灰処理土、上層路盤(下部)に粒調Fe処理材、上層路盤(上部)に瀝青安定処理や大粒径アスコンまたは碎石等を舗設し、舗装の長寿命化・道路交通振動の低減を図る工法である





◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された  
新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆  
(全ての活用型を含む)

⑨

G I コ ラ ム 工 法

QS-100022-VE[活用促進]

小型の地盤改良機で大型機並みの改良径・改良長(改良径φ1600・改良長20m)まで、ロッドの継ぎ切り無しで施工可能である。軟弱地盤中にスラリー状のセメント系固化材を注入しながら、土と固化材を機械的に混合攪拌し、良質な改良地盤を形成する工法である。



⑨

ハンドガイド式草刈機  
ブッシュカッタージョージ  
QS-130010-A

本技術はハンドガイド式草刈機に、操縦部の水平維持制御装置や刈取部のスライド装置を装備した事で、危険要素が低減し、安全かつ効率的に作業を行う事が出来る。



⑨

マンガ安全建設看板

QS-130020-VE

安全啓発に使用する看板で、汚れが付きにくく耐久性に優れたマグネットシートになっており、マンガストーリーによりKY活動や地域住民への交通安全、工事への理解などを得るための製品である。



⑨

自走式仮設水洗トイレカー

QS-140003-A

本機械は仮設トイレを軽トラックと一体化し自走式にしたもので、従来は軽トラックに定置式ユニットトイレを積み込み搬送して対応していた。本機械の活用により作業員の排泄時の快適性と利便性が図られ、環境及び安全性の向上が期待できる。



⑭

国産環境レンガ

QS-090025-VE

火山灰及び浄水廃土を利用し、省エネ窯により焼成した保水透水舗装用レンガ。



⑭

ECO-SAM(エコサム)

QS-120002-VE

GPSを利用した波状運転解析機能(速度変化の度合い)により、事故削減と燃費向上に寄与する車両安全運行管理システムである。



⑭

小口止用サイドブロック

QS-140005-A

河川護岸及びブロック積み擁壁の小口止に使用するブロックである。型枠設置、撤去が不要なので、ブロック積みとほぼ同時に施工でき、施工性、安全性の向上が期待できる。また、積みブロックを施工する重機で設置可能である。



⑰

防音タイプ油圧ブレーカ

QS-100020-VE

本技術は、コンクリート構造物の解体工事や道路・ダム・トンネルの岩盤掘削工事において使用される油圧ブレーカから発生する騒音を低減する。



⑰

N C シ ョ ッ ト

QS-150001-A

本技術は、コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材である。従来その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化した。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。





# ◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された 新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆ (全ての活用型を含む)

17

## PC横帯エブロック「横づな」

QS-150028-A

本技術は、横帯工を現場打ちコンクリートから二次製品とした。型枠設置・撤去が不要で、コンクリート打設も不要となり省力化・省人化・施工性の向上が期待できる。



17

## 雑草アタックS土系舗装材

QS-150035-A

本製品は、天然素材100%の土系舗装で、舗装材には竹短繊維や天然吸水骨材を使用しているため吸水性や保水性を有している。従来はアスファルト舗装等で対応していた。本製品の活用で品質及び環境の向上が期待できる。



21

## サイクルハンマー工法 (ロータリーテーブル式) QS-050019[活用促進]

土留工などの杭打設において、硬質地盤を削孔する工法である。超高周波型サイクルピットの開発により、硬質地盤を微振動衝撃破砕する方式の、削孔速度が速く、格段の工程短縮が図れる。



21

## M a x B o x + (マックスボックス プラス)工法 QS-150009-A

本技術は、多分割式のプレキャストボックスカルバート工法である。分割製造した部材を組立てて構築するため、設計条件に応じて多様な寸法に対応可能で、多連式カルバートにも適用できる工法である。プレキャスト化により省人化や工期短縮が期待できる。



21

## 自然災害防災システム Z E R O S A I QS-150021-VE

本システムは建設現場に設置した気象測器から観測データをリアルタイムに収集し高精度な気象予測を作成するもので、従来は気象庁のデータのみで気象予測を作成していた。本システムの活用により気象の急変に対応した安全対策が可能になり、安全性の向上が期待できる。



24

## レインスルー QS-070021[活用促進]

本技術は、既存の側溝を有効利用し、その上に透水性(排水性)舗装を施工するための埋設蓋である。高強度の蓋とすることで既設側溝をそのまま活用し、上面を透水性(排水性)舗装で覆うことが可能となる。



24

## 生コン車温度抑制対策 『ファームバリア』プラス QS-120011-VE

夏場の生コンクリートの品質を安定させる為、生コン車ドラムを遮熱塗装し輸送中の外気温が生コンクリート温度に影響しないようにする暑中コンクリート対策技術。



24

## 草刈機安全補助用具 「草刈達人かるべえ」 QS-130013-VR

本製品は、肩掛け式草刈機の刃をカバーする補助具で、従来はむき出しであった刃をカバーする事によって、安全な施工が可能である。①刃を360度カバーしている為、第三者への危険リスクが軽減するとともに、壁際などの接触が防げる。②石や異物が飛びはねにくい構造。



24

## 作業者接近検知システム QS-150004-A

検知機を搭載した建設機械に、ICタグを装着した作業者が全方位で任意の距離以上近づくと、運転手・作業者の双方に接近(危険)を警告するシステムである。なお、建設機械間の接近を警告することも可能である。



◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された  
新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆  
(全ての活用型を含む)

24

長崎差しトゲ無し玉掛けワイヤ

QS-160054-A

重量物吊上げに多用される玉掛けワイヤの加工において、鋭利な端トゲを表面に出さない技術を研究し、「長崎差しトゲ無し玉掛けワイヤ」を完成させた。引張り強度が増し、危険性が軽減され、作業効率の向上につながる。



24

ク マ ン ツ メ

QS-170005-A

道路維持修繕工における舗装版剥ぎ取りにおいて、1次剥ぎ取りを切削機で行い、2次剥ぎ取りとしてバックホウの刃先に特殊なエッジ(クマンツメ)を取付剥ぎ取るもので、従来の様な剥ぎ残しが少なくなる為、作業効率の向上が期待できる。

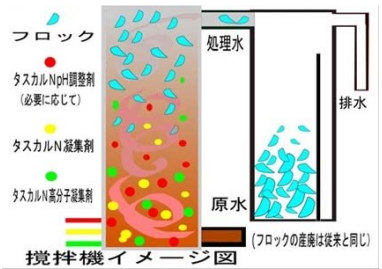


24

タスカルN中和濁水処理装置

QS-170013-A

独自のpH処理剤、凝集剤と新たな攪拌方法により3種類の薬品でpHを中和処理、懸濁粒子の凝結作用と架橋吸着、凝集作用により大きく強い形成効果があり小型化で(10m3/h以下)濁水処理効果の向上が期待できる。



24

スイングブラケット工法

QS-170014-A

本技術は、独自の親綱支持装置(ロープマスター)を設置することにより、法面の作業者の安全を確保し作業範囲を拡大する工法である。従来の技術に比べ、親綱が法面と摩擦することを確実に防止できるので、安全性が向上し、施工性の改善と作業者の負担軽減が可能である。



32

K C ラ イ ン 側 溝

QS-980144

縁石が側溝本体に大きく乗りかかる構造のため、側溝内断面の大きさに関わらず、路肩部(500mm)の位置に道路外側白線が明確に引ける構造である。



32

スチール透水蓋工法

QS-030044 [設計比較]

排水性舗装や透水性舗装の修繕工事に付帯する側溝改造に威力を発揮する。従来工法に比べ単純な工法の為、大幅な工期の短縮と現場管理等安全性を含め多くのメリットがある。完成後は側溝上が舗装で覆われ、車や人、車椅子等快適で安全な通行が確保できる。



32

G r ・ L 型 擁 壁

QS-030051 [活用促進]

たて壁部分に種別BまたはC種の車両用防護欄支柱を設置するための基礎を一体成型し、衝突荷重に対する擁壁の安定性、強度および車両用防護欄を持つ車両の誘導性能や路外逸脱防止性能を実車衝突試験で確認したプレキャストL型擁壁である。



32

グ ラ ベ ー ル 工 法

QS-050011 [設計比較]

グラベルを吹き付けると、イオンによる土の凝集効果で、法面の侵食を防止し、種子を混用することにより、植生を促進する。またグラウンド等に散布すると、防塵効果を発揮する。



32

ケ ス タ

QS-070009

「多自然川づくり」に最適な覆土工法用ブロックで、高水護岸用ケスタⅠ型、低水護岸用ケスタⅡ型がある。ブロック表面には縦横のリブがあり、覆土の流出を抑止する効果がある。また、ケスタⅡ型は工法の簡略化を追求したこれまでにない新しい形の覆土ブロックである。





# ◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された 新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆ (全ての活用型を含む)

32

## D コ ラ ム 工 法

QS-090001-VE

小型バックホウ並みのコンパクトなベースマシンのため、小規模なスペースでの施工が可能である。また、混合攪拌装置に設けた特殊な共回り防止翼により、土の共回り現象を大幅に抑制でき、均質でパツキの少ない鉛直性に優れた改良体を築造することができる。



32

## モ ル タ ル 吹 付 工 水 抜 き 穴 補 強 筋

QS-090030-VE

水抜き穴補強筋は、モルタル吹付層の水抜き穴からのひび割れの発生を抑制するとともに水抜きパイプを地山に密着するように所定の角度に固定し、地山の水抜き効果を向上させるためモルタル吹付層の劣化抑制・品質向上及びのり面の安定化に寄与する。

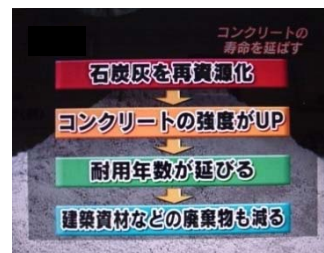


32

## コ ン ク リ ー ト 混 和 材 (CfFA:改質フライアッシュ)

QS-100005-VE

CfFA(改質フライアッシュ)は、石炭火力発電施設から排出されるフライアッシュを改質した混和材料で、①コンクリートのひび割れ・アルケリ反応等の劣化現象の抑制、②構造物の長寿命化、③ライフサイクルコストの低減等の効能の外、フライアッシュの大量消費を可能とする。



32

## 交通整理灯G&R G&Rロング

QS-100014-VE

発光色の変更により安全な誘導が可能な合図灯。①1本の合図灯で発光が赤とブルーグリーンに切り替えができる②夜間は誘導の識別が難しく、発光色の変更により安全な誘導が可能。

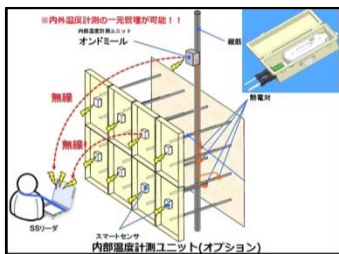


32

## スマートセンサ型枠システム

QS-110040-VE

本技術は型枠に、温度・姿勢・静電容量をリアルタイムで把握できるセンサを取り付ける事で、コンクリートの強度発現を推定でき、適切な脱型時期が確認できるシステムです。



32

## K C ス タ ン ド フ ォ ー ム

QS-110041-VE

本技術はFRC製埋設型枠であり、現場打ちコンクリートとの付着性能等が向上した為、砂防堰堤の埋設型枠、橋梁の落橋防止装置の残存型枠に使用できる。

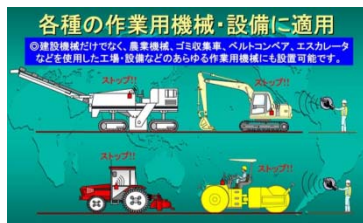


32

## 無線による建設機械等の 安全停止装置

QS-120012-A

建設用機械等のスクリーや切削機のドラムなどに巻き込まれる事故防止及び事故の被害を軽減させるため、“危険を感じたら離れた位置から無線操作により機械を安全停止できる装置”。



32

## ビ ッ グ ス ケ ー ル

QS-120014-A

本技術は、大型積みブロック擁壁であり、隣り合うブロックを前後に重ねながら施工するため、ブロック間の隙間が生じず、曲線部施工が容易であり、施工延長の調整も可能である。



32

## 噴 流 式 p H 処 理 装 置

QS-130026-A

工事現場等から排出されるアルカリ性排水を炭酸ガスで中和する装置である。攪拌効率の高い噴流ボックス式の攪拌で、炭酸ガスを効率良く溶解し、炭酸ガス使用量を低減できるので経済的である。また、自動制御により排水基準値から外れた処理水は原水タンクへ戻す。





◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された  
新技術のうち、九州地方整備局管内で活用があった新技術◆  
(全ての活用型を含む)

32

ピ ッ と 側 溝

QS-130037-A

自由勾配型の「ピッと側溝」は、蓋版と側溝本体が分離されており、底版調整コンクリートの施工が容易で、且つ蓋版をニーズに応じた形状にすることが可能なため、諸条件への対応が可能な自由勾配側溝である。



32

湿式ポリマーセメントモルタル  
の品質管理試験器  
『やわらか管理くん』  
QS-140013-A

本技術は、湿式ポリマーセメントモルタルの品質管理試験器で、従来は、モルタルフロー試験器で対応していた。本技術の活用により、湿式ポリマーセメントモルタルの品質管理を現場で容易に精度良く評価できるようになった。



32

フ リ ー ド リ ッ パ ー 工 法

QS-150016-A

本技術は、橋梁舗装面の水溜りを除去するために鋳鉄製集水樹に孔を開け水溜りを抑制し、周辺環境への抑制と安全性の向上、施工精度の向上が期待できる。



32

排 水 型 歩 車 道 境 界 ブ ロ ッ ク

QS-150040-A

側溝蓋に歩車道境界ブロックが一体分離構造となっており、エプロン部のコンクリートを狭くしたため路肩部の車道外側線までをフラットに出来る事から、自転車等が通行する際の安全性が向上する。



32

A K フ レ ー ム 工 法

QS-160017-A

法面の表層崩壊防止、斜面の安定化を目的とした法面保護工法であり、従来の現場吹付法枠工200×200と同等以上の曲げ耐力を持ちながら、コスト削減を可能とした工法である。



32

無線遠隔操縦等の小型船舶による  
高精度深浅測量システム  
QS-160031-A

無線遠隔操縦等による小型船舶は小さな波の影響を受け動揺しやすい。従って、測深機のみを搭載しても、水深精度を著しく低下させる。開発システムは無人小型船舶に動揺センサを搭載し、リアルタイムに補正する音響測深システムである。



32

貼ってはがせるクラックスケール  
「Hurry(ハリー)」  
QS-160040-A

“亀裂の撮影を最少人員で行いたい”というニーズに応えたクラックスケールである。今まで必ず調査員の一人がクラックスケールを保持していたことに着目し、貼ってはがせることで調査の効率化及びコスト面からも優れたクラックスケールである。



32

エレクトロリムーバー

QS-160043-A

鉛、PCB等の有害物質を含む鋼構造物塗膜の1種ケレン素地調整において、エアブラストに先立ち電磁波誘導加熱により塗膜を除去する工法で、従来は、1種ケレン+処分費で対応していた。本技術の活用により、特別管理廃棄物の減容化ができ、経済性が向上する。



32

保安用品等に用いるプリズム  
反 射 蓄 光 シ ー ト  
「アルファ・プリズム」  
QS-170008-A

本技術は、主に工事現場での工事用看板等にプリズム反射蓄光シートを貼り付けて、走行中の自動車運転手や自転車走行者及び光源を持たない歩行者の夜間視認性を向上させ、注意喚起を促す技術である。



## ◆資料詳細◆

### p. 4 九州地方整備局管内の新技术活用状況の推移

- 新技术活用率(新技术を活用した工事件数を総工事件数で除したもの)は、平成29年度は過去最高の54.8%となりました。
- 新技术活用工事件数は平成25年度に900件を突破しましたが、平成29年度は823件でした。
- 活用延べ新技术数は、平成29年度は過去2番目の2,872件に達しました。

| 九 州           | H20   | H21   | H22   | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   | H29   |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総工事件数(件)      | 2,107 | 2,264 | 1,913 | 1,816 | 1,961 | 2,092 | 1,566 | 1,362 | 1,772 | 1,502 |
| 新技术活用工事件数(件)  | 661   | 764   | 690   | 764   | 790   | 972   | 785   | 659   | 887   | 823   |
| 活用技術件数(件)     | 1,098 | 1,593 | 1,677 | 2,240 | 2,433 | 2,792 | 2,627 | 2,172 | 3,233 | 2,872 |
| 新技术活用率(%)     | 31.4  | 33.7  | 36.1  | 42.1  | 40.3  | 46.5  | 50.1  | 48.4  | 50.1  | 54.8  |
| 1工事当たりの活用新技术数 | 0.52  | 0.70  | 0.88  | 1.23  | 1.24  | 1.33  | 1.68  | 1.59  | 1.82  | 1.91  |

### p. 5 九州地方整備局管内の活用件数の多い工種

| 順位 | 工種ランキング  | 活用件数<br>(延べ技術数) |
|----|----------|-----------------|
| 1  | コンクリート工  | 596             |
| 2  | 仮設工      | 555             |
| 3  | 土工       | 359             |
| 4  | 共通工      | 246             |
| 5  | 道路維持修繕工  | 228             |
| 6  | 舗装工      | 164             |
| 7  | 調査試験     | 88              |
| 8  | 電気通信設備   | 76              |
| 9  | CALS関連技術 | 70              |
| 10 | 付属施設     | 66              |
|    | その他      | 424             |
|    | 合計       | 2,872           |

## ◆九州技術事務所 新技术ポータルサイトの紹介◆

### 九州技術事務所HP

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/>



九州技術事務所HP  
トップ画面

ホーム > 建設技術 > 新技术情報/NETIS (新技术ポータルサイト)

#### 新技术情報/NETIS (新技术ポータルサイト)

- ▶ 産学官の連携
- ▶ 地域連携・支援
- ▶ お知らせ
- ▶ NETISへの登録申請(申請様式etc.)
- ▶ 技術開発相談窓口のご案内
- ▶ 基本事項(NETISシステム・実施要領 etc.)
- ▶ お役立ち情報室
- ▶ 活用(活用計画書・報告書および活用効果調査表、工法抽出etc.)
- ▶ 評価(有用な新技术etc.)
- ▶ 登録(NETISの登録申請、九州で登録した新技术)
- ▶ その他(i-conの土工におけるICT関連技術一覧etc.)



## ◆イントラ KYUTIS 新技術ポータルサイトの紹介◆

発注者のみ

## ◆九州技術事務所 facebook の紹介◆

### 九州技術事務所 facebookによる新技術情報配信開始

新技術情報提供システム(NETIS)に登録された新技術の現場での活用を一層強力に推進するために、発注者、設計者、施工者、開発者に向けて情報を日々発信します。

開発者には、登録された有用な技術を開発に至った思い等をアピールして頂くためにコメント欄への書き込みを可能とします。



## ◆新技術・新工法説明会の開催状況◆

発注事務所、地方自治体、コンサルタント、施工者を対象に九州7県において新技術の役割と意義、NETISにおける個々の新技術の理解を深めるため、新技術活用システムの説明や、NETISに登録済みの開発者によるプレゼンテーション、ブース展示を行っています。

### 平成29年度 実施状況写真



プレゼンテーション



ブース展示

### 平成29年度 開催実績

| 開催地 | 会場名             | 説明会実施日    | 参加人数 | プレゼンテーション<br>技術数 | ブース展示<br>技術数 |
|-----|-----------------|-----------|------|------------------|--------------|
| 佐賀  | 佐賀市文化会館         | 10月31日(火) | 119  | 16               | 16           |
| 大分  | 別府国際コンベンションセンター | 11月2日(木)  | 118  | 19               | 18           |
| 宮崎  | 宮崎市民文化ホール       | 11月10日(金) | 127  | 18               | 15           |
| 鹿児島 | 鹿児島県市町村自治会館     | 11月14日(火) | 174  | 18               | 16           |
| 長崎  | ブリックホール         | 11月17日(金) | 105  | 17               | 14           |
| 福岡  | 福岡県自治会館         | 11月20日(月) | 198  | 19               | 19           |
| 熊本  | くまもと県民交流館パレア    | 12月1日(金)  | 158  | 20               | 20           |
| 計   |                 |           | 999  | 127              | 118          |

## ◆「九州建設技術フォーラム」の開催 状況◆

### 目 的

新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、新技術相談等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指す。

### 平成29年度開催実績

平成29年10月18日(水)[13:00~17:00] 10月19日(木)[10:00~16:00]

会場:福岡国際会議場

#### 【基調講演】

「生産性革命をめざして」 講演者:森 昌文氏(国土交通省 技監)

#### 【特別講演】

「けんせつ小町の活躍推進に関する取組み」 講演者:畠中 千野氏((一社)日本建設業連合会 けんせつ小町委員会 技術者活躍推進 専門部会長)

#### 【技術情報の提供】

・ブース展示(107ブース) ・プレゼンテーション(47件) ・ポスターセッション(19件)

#### 【参加人数】

・約3,100名参加(大学生、専門学校生、工業高校生等 約650名)

### 参加対象者

学識経験者、学生(大学生、専門学校生、工業高校生等)、建設業連合会、建設コンサルタンツ協会等、西日本高速道路、福岡県、福岡市、北九州市、福岡北九州高速道路公社等、九州地方整備局他

#### 【基調講演】



#### 【特別講演】



#### 【新技術相談窓口】



#### 【i-Construction相談窓口】



#### 【プレゼンテーション】





国土交通省九州地方整備局  
九州技術事務所  
(九州防災・火山技術センター)

〒830-8570 福岡県久留米市高野1丁目3番1号

TEL: 0942-32-8245 FAX: 0942-32-8295

E-mail [kyugi-netis@qsr.mlit.go.jp](mailto:kyugi-netis@qsr.mlit.go.jp)

ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/>

